



こうほう

— 新春特集号 —



DENNET
デンネット“DENNET”は電気(Denki)工
事業で固く結ばれた協同集団(Network)
を意味して造られた組合の略称です。

第 130 号
平成26年(2014年)1月1日

石川県電気工事工業組合

ひととものづくり科学館 (愛称・サイエンスヒルズこまつ) (小松市こまつの杜)

12月1日にJR小松駅東口で、科学交流のまちを全国に発信する「ひととものづくり科学館」(愛称・サイエンスヒルズこまつ)が一部オープンした。総延長約250メートルに及ぶ波をイメージした屋上庭園、最先端技術を結集した国内最大級の「3Dシアター」のほか、太陽光を取り込んで虹を作る「プリズム照明」など、知的好奇心を育む仕掛けが詰め込まれた夢空間は少し遅れて3月開業に向けて準備作業が進んでいる。

小松で初の科学館となる「ヒルズ」は一部2階建て、延べ床面積約6千平方メートルで、総事業費は約34億円。ものづくり精神の継承と科学技術意識の啓発などを目的に、小松市が整備を進めてきた。イベントに利用できる「わくわくホール」と2階のイタリアンレストラン「リストラテ・ジン」が先行開業した。

「風に見える丘」と名付けられた屋根には、花や木を植栽した。波形を利用して地上から歩いて上ることができる。夜には200個のLEDが発光し、ホテルのように点灯するなど、魅力的な夜間景観をつくり出す。

この3月に映写が始まる3Dシアターは、直径16メートルのドーム型で、高解像度、高輝度の画質を誇る。360度隅々に3次元映像を投影可能で、天体などを紹介する。120人収容で企業や団体の発表にも使える。

通路などには、歩くと太陽系の惑星の写真が浮かび上がる床、特殊フィルムで透かしてみると、弁慶や鳥、飛行機の絵がカラフルに描き出されるパネルなどの仕掛けがちりばめられた。トイレの鏡は左右が逆に映る。これらの仕掛けは、現在30個あり、全面開業時には100個まで増える。産学連携の展示スペースでは、宇宙からの電磁波を変換した音を聞ける。

目 次

年頭のごあいさつ	1
常務理事のごあいさつ	7
ことしの“誓い”年男・年女は語る	10
各賞受賞者	14
第30回電気工事業全国大会決議	18
各本部だより	20
青年部だより	40
行事報告	43



年頭のご挨拶

理事長 米 沢 寛



新年明けましておめでとうございます。

お揃いで健やかな新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は念願とされた自民党が政権を奪還、大きな期待のもとで新政権が稼働しました。長びくデフレや円高対策に矢継ぎ早に打ち出された経済復興対策、果敢に取り組む政権の姿に政治が国民の信頼を取り戻した一年でもありました。

エネルギー問題については残念ながら抜本的な対応策も得られぬままに新年を迎えました。何より国内の50もの原発再稼働の糸口を見いだせないのはきわめて遺憾なことです。我が国にとって原子力発電の導入拡大は不可欠な問題であり、原発が稼働しない現在、日本における電力量の70%を火力発電に頼っています。資源に限りのある我が国にとって貿易収支にも直接影響を及ぼすなど最良の方法とは言い難く、再稼働も含めこれまで原発に依存してきた社会構造を熟慮、代替エネルギーについての真剣な論議を早期にすべきと考えます。

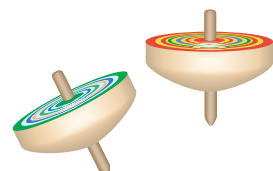
エネルギーのベストミックスも大きな課題です。省エネルギー、再生可能エネルギーに関心が寄せられるなか業界の英知を集めベストミックスをビジネスチャンスにしなければなりません。家庭における省エネルギーも住宅で生み出すエネルギーと消費するエネルギーを相殺する「エネルギー・ゼロ」をめざす提案などが喫緊の課題と思います。消費を

実質ゼロにする太陽光パネルや熱効率の高い建築材の使用、使用電力を自動的に節約する素材の導入など、実現性の高い省エネ、再生可能エネルギーに新たな活路を見出すことも必要です。それぞれがより地域に密着しながら局面を開くするには技術型提案など営業姿勢に一層の努力が求められます。

年末の国会で成立した電気事業法、長い間、日本の電気の文化の一つともいえた発送電が分離されることには引き続き議論が求められます。そうしたなかで明るい材料は北陸が待望してきた北陸新幹線が来春開業することです。長年にわたり待ち望んだ地域の夢の実現に合わせ、このチャンスを地域と業界の発展につなげなければなりません。

今年から新たに「電気工事技能競技全国大会」が開催されます。電気工事業界に課せられた「安心・安全」「確実に電気をお届けする」という社会の負託に応えるには従来の技術の向上に加え、新技術に対応できる新しい技術を社会に発表するのが技能競技大会です。一層の技能の向上にお取り組みいただき、つねに地域社会の期待に応える組合であって欲しいと願っています。

今年も活力ある電気工事業を目指したいと思います。引き続きご指導のほどよろしくお願い申し上げます。





新年を迎えて

北陸電力株式会社
執行役員 石川支店長

石 黒 伸 彦



新年明けましておめでとうございます。

石川県電気工事工業組合の会員の皆様におかれましては、健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃は当社の事業運営につきまして、格段のご支援とご協力を頂いておりますことに対し、厚くお礼を申し上げます。

さて、未曾有の大被害となった東日本大震災から間もなく3年が経過しようとしており、現在もこの国難に対し国を挙げて復興に取り組んでいるところであります。また、福島第一原子力発電所に係る除染作業、廃炉作業等において、国も前面に出て事業者と一体となり収束を図る体制ができたことで、これまで以上のスピード感を持って一日も早く復興されますことを祈念するところであります。

現在、全国の原子力発電所が全て停止した状況にあり、震災以降、原子力に依存しない初めての冬を迎えることとなります。このため、全国的には引き続き火力発電所の補修時期の調整や節電へのご協力をお客さまにお願いすることで、安定供給に最低限必要とされる供給予備率3%を確保できる見通しではありますが、原子力発電所の停止が継続している状況においては、大型電源のトラブルなど不確定要素を考慮すると大変厳しい需給状況であることに変わりはありません。

当社におきましても、上記に加え電気設備の保守点検を確実に実施する等、安定した供給力の確保に努めてまいり所存であります。

さて、昨年7月には原子力規制委員会から原子力発電所に係る新基準が施行されまし

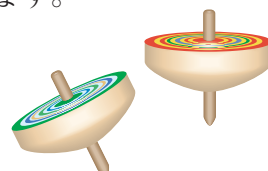
た。当社といたしましてはこの新基準への適合はもちろんの事、世界最高水準の安全性を目指して対策を進め立地地域の皆様に安心頂ける発電所としてご理解を頂いたうえで、一日も早く運転を再開したいと考えております。

一方、電力システム改革につきましては、「広域系統運用機関の設立」「電気の小売業への参入の全面自由化」「法的分離による送配電部門の中立性の一層の向上」と段階的に進めることで、昨年末に改正電気事業法が成立しました。

当社におきましては、自由化による競争促進と原子力事業の両立といった課題をクリアした上で議論を進めるべき旨を主張すると共に、具体的な制度設計における議論状況を注視しつつ、真にお客さまの利益につながる制度となるよう働きかけていきたいと考えております。

貴組合の皆様は、お客さまと当社を結ぶ大切なパートナーであり、お客さまの期待に応えていくためにも更に連携を密にし事業運営を行っていききたいと考えております。本年も引き続き、安全最優先で高い施工品質を維持して頂き、当社事業に対し変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴組合の益々のご発展と組合員、従業員ならびにご家族の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。





新年を迎えて

副理事長兼
加南本部長
(広報担当)

川 腰 利 榮



新年明けましておめでとうございます。組合員の皆様方にはご家族と共にお健やかに初春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

さて、去年は新政権による経済政策や日銀の金融緩和に期待感も高まる中、株価や消費マインドが大幅に改善し、日銀は緩やかな回復基調と発表していますが株価や為替に安定感があるとは思われません。

電気工事業界では、政府の公共投資転換政策により、建設・土木工事が増加し、また東日本大震災の復興工事、消費税駆け込み需要で住宅着工件数も伸び職人不足で竣工が遅れる現場も出ているようです。今年4月以後の工事の落ち込みが心配されるところです。ただ仕事が忙しい割に採算ベースに合わず、低価格工事が定着したような感があり、アベノミクス効果にはほど遠いように思われます。提案型技術営業やコンサル型営業活動を主体に力を注ぎたいと思います。

第30回電気工事業全国大会におきまして優良事業工組表彰制度が創設されました。我が加南本部では2件の事業を応募させていただきました。平成14年から取り組んでまいりました「配電線非常災害復旧訓練、平成19年からの「電気使用安全月間ポスターコンクール、です。全国から応募されました25の事業の中から災害復旧訓練が銀賞に、ポスターコンクールが優良賞を頂きました。これは当初よりご指導、ご鞭撻いただきました北陸電力株式会社小松支社様の多大なるご協力の賜物と感謝申しあげます。また加南本部組合員の皆様には事業主から社員並びにご家族までご参加いただき有難うございます。まだまだ事

業を継続して行き技術力の研鑽、安全性の向上、他事業所の作業員との交流を図り、災害時での復旧経験を踏まえて機動力を生かして、ライフラインの確保に努めたいと思いますので今後ともご協力よろしくお願い致します。

あまり大きな声でオール電化を推奨できない中、昨年11月下旬に小松、加賀と2会場に分けて省エネ電化フェアを北陸電力リビングサービスとの合同で開催しました。来客数を心配しておりましたが2会場約500組の方々にご来場頂きました。参加店の皆さまご苦労さまでした。

政府のエネルギー政策も、原発の安全性の確保を大前提に引き続き活用していく「重要なベース電源」と位置づけ、再稼働に前向きな姿勢が示され早期の稼働を望みます。

広報新年号発刊にあたり多くの皆様に寄稿のご協力をいただきまして有難うございます。「こうほう」についてご意見、ご希望、ご提案がございましたら県本部及び各本部の広報委員にお伝え頂きたいと思います。またテレビ金沢でランダムにコマーシャルが流れていると思いますが、いかがでしょうか？お客様からの反応はありますか、構成はどうでしょうか、できればご意見を頂きたいと思います。

最後になりましたが、寒さも一段と厳しくなる時期でございます。万病のもと風邪と事故に注意されまして、ご健勝にお過ごし下さい。本年も組合運営にご尽力賜りますようお願い申し上げます。新年の挨拶とします。





新年を迎えて

副理事長
(環境担当)

日向 捷 久



新年明けましておめでとうございます。皆様には御家族、従業員共にお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃は、組合の諸事業に対しまして、ご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、記録的な豪雨や竜巻など地球環境の変化を認識せざるを得ない状況となっており、また、社会情勢に目を向けますと、食品偽装問題など相次ぐ不祥事があり、世間の目も益々厳しくなっていることと思われます。さらに、今年4月から消費税率が引き上げられることが正式決定しました。現状での受注増加は、あくまでも消費税増税前の駆け込み受注であり、増税後には、急激に市場が冷え込むことも大いに予想されます。組合員各位には、当然この流れについて警戒こそしているものの、打開策を見いだす努力が必要であり、当然のごとく各事業所として次の策は求められます。営業面であれば、ターゲットとなりうる顧客を複数用意し、また、業務面においては、常に仕事のバックアップを取りながら業務を行うのが常であります。このように、いつ、いかなる場合においても二の矢、三の矢は準備しておき、不足事態に対する備えは必要不可欠であります。ただ、このような備えをはるかに上回る事態に遭遇した場合には、改めて基本に立ち返り、対策を講じねばならない。いずれにせよ、先手先手で仕事をしたいものであります。

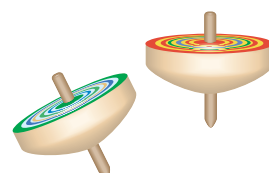
また、昨年夏は、異常気象でした。原発が停止した代わりに化石燃料による発電が増えて、温暖化をより深刻にしているようです。

化石燃料に頼り続ければ、今後も温暖化による深刻な異常気象は、悪化の一途を辿る事でしょう。一同が手を取り合って、原発の安全性とその効用を広くアピールし、志賀原子力発電所の日も早い再稼働により電力の安定供給を望みます。

2020年のオリンピックが東京に決まり、また、来春、北陸新幹線開業に伴い北陸の景気が浮上し更に、株価も上がりはじめ景気回復への期待が大きくなっております。現在の状況が更に継続し、業界にもその影響が早く及ぶことを念願する次第でございます。

今年は、全日電工連の新たな取り組みとして、「電気工事技能競技全国大会」が開催されます。いつの時代にも新技術の開発に対応できる技術の取得と知見の拡大に努めなければなりません。昨年、環境委員会主体で開催した「雷害対策セミナー」も新技術取得に役立ったと思います。このように、お客様をはじめとした各方面からの要請に応えるためにも、技術を切磋琢磨し相互啓発が重要であり、この大会を機会に技術力を磨いて、営業拡大をめざしましょう。

結びに、お世話になります北陸電力株式会社様には、今後ご指導をお願いし、組合員の皆様には、安全作業を第一に明るく希望に満ちた年になりますこととお祈り致しますとともに、今後も組合諸事業にご協力を賜りますようお願い致します。





新年を迎えて

副理事長兼
能登本部長
(安全担当)

川 島 克 文



新年を迎え、組合員皆様方に謹んで新春のお慶びを申し上げます。平素は組合の事業活動、運営におきまして格別なるご支援ご協力を頂いておりますこと、厚くお礼申し上げます。

一昨年暮にはトンネル天井崩壊事故の発生、そして民主党から自民党への政権交替で世間が騒ぎ、昨年暮れには、特定秘密保護法が与党の強行採決にて成立しました。

憲法九条の理念、理想、願望と違って合法的な自己拘束とならないのか。国民の「知る権利」を害する恐れはないのか。又、本年4月より消費税が8%へと上昇する。上向き傾向の景気に影響を及ぼすことはないのか。いずれも大変気に掛かるところです。

一方で、北陸新幹線開業に向けて営業車両での走行試験が始まりました。加賀方面はもちろんのこと、世界農業遺産に指定された能登の交流人口拡大と、能登全体の活性化を期待しております。

そんな中でも一番の関心事は、発送電分離案とエネルギー基本計画の推移であります。発送電分離に関しては、第一段階より第三段階に分けて計画を進めていくとのこと。

又、エネルギー基本計画の素案では前民主党政権が掲げた「原発ゼロ目標」を否定し、原発を「重要なベース電源」として活用する方針を経済産業省が発表しました。

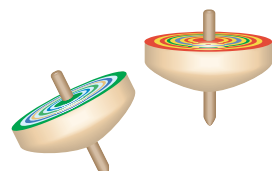
何はともあれ、原子力発電をベース電源として位置付けたことは我々業界としても大いに歓迎すべきことであります。

孔子の教えに「和して同ぜず」という言葉があります。言うは易く、行なうは難しで簡単には実行できません。

和するということは自分と異なる考え方、行動に対しても協調していくことであり、「同じで和せず」では、表面的には同じ考えであるが、和していなければ不満を抱えていることになります。「同ぜず和せず」では、話しにもなりません。昨今の国会運営と同じでないでしょうか。「和して同ぜず」とは、集団（組合）として考えるならば全体で団結して、まとまりをつけていく事であります。

ゆえに、配電、引込、内線工事においてもより一層の研鑽を重ね安全第一で施工品質管理を徹底されんことを、これは組合員の責務であります。

終わりにあたり、組合員皆様方のご健勝ご多幸の程、ご祈念申しあげ新年のご挨拶とさせていただきます。





新年を迎えて

常務理事兼
金沢本部長
(電設担当)

中 村 唯 夫



新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素から皆様方には、組合の事業運営に格別のご協力の賜物と心より厚く御礼申し上げます

昨年を振り返りますと、日本経済は、円安株高傾向にあるものの、実際の景気はまだまだ予断を許せない状況にあります。来年には北陸新幹線が開業、2020年には東京オリンピック開催が決定により景気上昇へのムードは高まりつつあるものの、今年4月から消費税増税後の一時的な消費停滞などへの不安もあり、手放しで喜べる程ではないようです。

さて、我が国は、「世界全体の温室効果ガス排出量を現状に比して2050年までに半減」という全世界に共通する目標を2008年に提案して以来、低酸素社会づくりの行動が進められています。具体的な手段としまして、環境に配慮した太陽光発電を始めとするエコ商品への切替や電気自動車普及に向けた充電施設の拡大等、省エネルギー対策や再生可能エネルギー等の二酸化炭素を排出しないゼロエミッション電源推進が挙げられています。更には、スマートグリッド構想など効率化・利便性などがより追求され全てが「スマート化」に進んでいます。いずれも電気設備に関わる場面が多く、それらの最新の動向を踏まえながら電気工事を適切に進めていくことが重要と考えます。

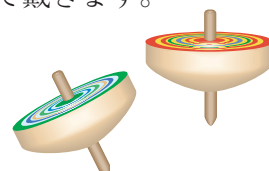
これらの社会の動きは、環境に配慮した電気設備の開発を促し、それに対応した電気工事技術の習得を要求しており、電気工事の分

野は広がっています。私たち電気工事業に携わる者として、来る社会の要請に応えるべき、新しい知識と技術習得に努め、優秀な技術者を育成し、施工品質の向上を図り石川に暮らす人々が安心して、安全にそして快適に生活できるよう、従来にも増して皆様の信頼に応えられるよう努めてまいります。また、東日本大震災後、電気に対して非常に厳しい目が向けられています。こうした中、従業員一人ひとりが、日常業務において、コンプライアンス『法令遵守』意識を高く持ち続けることが、これまで以上に重要だと考えます。

昨年5月より、皆様のご協力により金沢本部支部組織が、新7支部執行体制となり、各支部において講習会等活発に開催されていることと思いますが、更なる各支部での活動をお願い致します。

今年も電気を取り巻く環境は厳しいと思われますが、北陸電力株式会社様と共に全力で電気の安定供給に向けて邁進したいものです。また、株式会社北陸電力リビングサービスと組合で実施している「省エネライフ・エコ替えキャンペーン」では、『お・も・て・な・し』力を磨いて、生活環境に合った魅力のある電化を提案していきたいと思ひます。

御世話になります行政各位、北陸電力株式会社様には今後共御指導、御鞭撻を御願ひ申し上げますと共に、組合員、従業員、ご家族の皆様方の安全と益々のご健勝をお祈り申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。



常務理事のごあいさつ



常務理事
(総務担当)
野澤 和敏

新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様方におかれましては健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は新政権のもと「国土強靱化」対策や「アベノミクス」効果もあり、我々業界も久しぶりにマイナスからプラスに転じたのでは

ないでしょうか。

気になるのは今年4月からの消費税の増税が景気に大きなマイナス作用を及ぼさないかが心配なところです。幸いにも北陸にとって飛躍の好機である新幹線開業を来春にひかえ、このチャンスが業界の発展に繋がればよいと思っております。

エネルギー政策においては、エネルギー基本計画の素案で原子力が「重要なベース電源」と位置づけられました。安全性が確認された原発から再稼働させるとした政策方針に基づいて、志賀原発の一日も早い稼働により、良品で安定した電力が供給されることを望むものです。

一方電力システム改革を3段階で進める改正電気事業法が成立しました。「発送電分離」については、安定供給を損なわないよう分離を補完する仕組みやルールを慎重に審議整備してもらいたいものです。

地球環境の変化に起因した異常気象による災害が多く発生しています。

組合には災害時における地域社会のライフラインを支える大きな社会的使命があります。組合員、従業員の皆様方一人一人が北陸電力株式会社様と共に「電気を守る、安心を守る」仕事に誇りと責任を持って働くことで、一層の信頼が得られるものと思っております。

初春とはいえ、まだまだ厳しい環境の中での作業が続きますが、基本ルールを遵守し、安全第一で無事故、無災害でこの一年を乗り切りましょう。

最後になりましたが、今年も組合運営にご協力、ご支援をお願い申し上げますと共に、組合員の皆様方の益々のご繁栄とご健勝を心からご祈念申し上げて新年の挨拶とさせていただきます。



常務理事
(配電担当)
今出 真稔

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましてはお健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、安倍政権下のもと我が国の内政においては課題があるものの安定した政治が行われている様な気がします。しかし国内のエネルギー問題においてはまだ

まだ問題が多く、理想論でなく現実的な観点から我々の願うエネルギーの安定供給に向けて一刻も早く原発の再稼働を願うばかりです。

また外交面においては領土問題から端を発し東シナ海上では非常に緊迫した状況下であり、重大な局面に向かわぬ様、注視していきたいと思います。

昨今、我が国のみならず地球的規模で異常気象による災害が多発し、電気というライフラインの維持・管理を生業とする我々の役割は今まで以上に大切になるであろうし、責任も増してくるものと思います。

その様な状況下のもと昨年は配電工事施工品質評価実績では前年から比較すると指摘・手直し等々は大幅に減少しました。

これは施工者の皆様一人ひとりの安全・品質向上にむけた努力の賜物であり、今後も更に向上心を持ち努力を期待するところです。

しかし一部でモラルの低下が危惧される事例もあり、気を緩める訳にはいきません。

さらに、工事を行う労働力及び施工能力の低下、組織の弱体化も憂慮される一つであります。

そうなり得る起因要素は様々あるものの、配電工事を発注・コントロールする組合として組織力を強化して様々な知恵を出し行動を起こしながら組合員施工者がより強い施工体制がとれるよう、努力していきたいと思います。

最後になりますが、組合員皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに本年一年が明るい希望の年となるようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



常務理事
(厚生担当)
鳥 畑 弘

新年明けましておめでとうございます。組合員の皆様方におかれましては、健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて昨年の世相を一字で表す漢字が、応募総数トップの結果「輪」という字に決まりました。東京五輪の開催決定や国内外で起きた

災害からの復興に支援の輪が広がったことなどが理由でした。近年国内においても今までに無い豪雨や台風、竜巻等異常気象により数多くの災害が発生しています。このような自然災害に対し、復旧復興にいち早く対応し被災された方を支援するには、それぞれの分野における団結力及び人の輪が重要です。

我々の業務においても、事故復旧に対しお客様から喜んでいただいたり感謝された時は素直に嬉しいものです。「人は他人のために頑張れる生き物」と言われています。誰かの役に立っているという思いは、他に替えがたい活力が生まれます。そのためにも目の前の仕事に全力を注ぎ、努力しお客様に喜んでいただき、感謝される仕事をする事が大切です。たとえ痛い失敗を経験しても、後々多種多様な仕事の場面で活かされ、決して無駄にはならないのです。そのようにして様々な経験を積み上げていくことが必要であり、経験こそが財産です。そして、それは将来万が一の災害時や緊急の時に組合員一人ひとりの経験の英知を結集して災害復旧に対処することに繋がり、それが組合員の「輪」となって地域に貢献できるのではないのでしょうか。

最後になりますが、年頭にあたり組合員皆様方の益々のご繁栄とご健勝をご祈念申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。



常務理事
(企画担当)
由 雄 一 彦

新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様方にはお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、組合役員改選で常務理事の大役を受けることになり、理事長より「企画」担当を仰せ付けられました。「企画」といっても範囲が

広く何から進めれば良いか迷っており、諸先輩の指導を仰いでいるところです。年明け早々にある程度テーマを絞り一歩前へ進めてゆきたいと思っております。組合員の皆様には是非とも御指導、御協力の程よろしくお願い申し上げます。

さて昨年の日本の経済を振り返って見ますと一昨年の政権交代後「アベノミクス」効果で幾分景気の方は回復しているように思われますがしかし、今年の4月からの消費税率アップで消費が落ち景気も減速するのではと懸念しております。

我々の業界も昨年中は大変な仕事量で「人手が足りない！人手が足りない」とあちこちから聞いておりましたが、今年はどうなりますか4月以後のこともあり不安です。幸にも北陸では新幹線開通前年に伴う経済効果でまだ相当量の仕事があると思われていますが決して安心はできないと思います。技術革新はどんどん進んでいますし、新規分野も生まれてくるでしょう。我々組合も明日への新しい時代に向かって力を合せ、組合を再度見直して前進してまいりたいと思います。

最後に組合員、従業員並びに御家族の皆様方の安全と益々の御健勝を御祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



常務理事
(電力部長)

種本 明博

新年明けましておめでとうございます。

甲午（きのえうま、こうご）の新春を寿ぎ、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

干支は、十年の変遷を表す十干と、十二年の課程を示す十二支を組み合わせ

六十年周期となっていますが、「甲」の字はうろこを描いた象形文字で「機が熟した種、若しくは卵が生命体の姿を現す過程を示すもの」、「午」の字は杵の象形文字で「つらぬく、つきとおすなり」と極めて強い意を表わしており、馬とは何ら関係はない文字であります。

十干：^{きのえ}甲、^{きのと}乙、^{ひのえ}丙、^{ひのと}丁、^{つちのえ}戊、^{つちのと}己、^{かのえ}庚、^{かのと}申、^{みずのえ}壬、^{みずのと}癸
十二支：^ね子、^{うし}丑、^{とら}寅、^う卯、^{たつ}辰、^み巳、^{うま}午、^{ひつじ}未、^{さる}申、^{とり}酉、^{いぬ}戌、^い亥

時世は六十年周期に大きく変化しているが、周期前半最後の年となる癸巳（みずのとみ）を経過し、六十年に一度の“甲”と“午”の組合せとなる2014年、その語源から人間の本性があらさまに発揮される年とも言われており、将来を決める極めて重要な時期となることは想像に難くないところであります。

1834年天保の“甲午”「天保の改革」を断行。これが幕末の始まりとなる。

1894年明治の“甲午”日清戦争開戦。以降、急速に軍事国家の道を駆け上がる。

1954年昭和の“甲午”民主党の結党で、民主国家の礎が確立される。

東通工（今のソニー）のトランジスター開発が経済大国の道を拓く。

さて、福島第一原子力発電所事故により原子力発電所の評価は地に落ち、電力需給状況が逼迫するなか国内全原子力発電所が停止に追い込まれましたが、ようやくここに来てエネルギー基本計画の素案に原子力を「安定供給、コスト低減、温暖化対策の観点から、安全性の確保を大前提に引き

続き活用していく重要なベース電源」明記された。

原子力発電所は、昭和48年に発生したオイルショックを反省としてエネルギーの多様化、エネルギー輸入依存度の低減を目的として、国策で開発が進められたものである。

中核電源を放棄すれば石油火力発電所の焚き上げしか方法が無いことは自明の理であり、3.6兆円の国富を燃料費として海外へ流出させ、何時壊れるとも判らない老朽施設に鞭打つことは1日も早く終止符を打つべきであります。

目標が定まれば一瀉千里で物事が進むと言われる“甲午”の年に、原子力復権の道が開けたことは喜ばしい限りであり、志賀原子力発電所については原子力規制委員会、地元同意の取付けと超えるべき山がありますが、早期の営業運転再開を念願するところであり組合員の皆さまと共に協力を努めたいと存じます。

配電工事は、発注者安全パトロール、竣工検査で前年度指摘件数13件から6件（46%）と大幅に減少することができ、施工者各位の多大なる努力に感謝申し上げます。

配電工事施工者教育は、教育体系に基づき新入社員教育、若年者教育を始めとして実施してまいりましたが、本年度はカリキュラム等の改善を図り人材育成に努めたいと存じますので、ご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



こ と し の 誓 い

「年男・年女は語る」



(敬称略)

金 沢 本 部



安井電気工事(株)

安 井 壽一郎

組合員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

私は、今年六回目の午年を元気で迎えることが出来、大変うれしく思っています。

振り返ってみますと、創業（昭和二十三年）者の父より、四十五歳の時に引き継ぎ今日まで仕事の面では数多くの苦難に直面しましたが、家族、社員、地域の方々に支えられ乗り越えることが出来ましたこと、心から感謝しております。

組合運営にあたりましても、微力ながらも協力し、平成四年より現在も役員をさせて頂き、組合創立七十周年には特別表彰を頂きありがとうございます。

又、私の人生の中で一番の思い出は、妻が平成十九年に秋の緑綬褒章の栄に浴し、天皇陛下に間近に拝謁の栄誉と共に言葉まで賜わり、夫婦共々最高の感激の極みで一生忘れることは出来ません。

これからも、今までの思い出を活力に、「一日一生」をモットーに感謝の気持ちを忘れることなく、今後を過ごしたいと思います。

最後になりましたが、今年も組合員の皆様の御繁栄と、御健勝を心から御祈念申し上げます。

(昭和17年1月9日生 71歳)



柴電気工事(株)

西 康 雄

あけましておめでとうございます。

日本人の平均健康寿命(70.42歳)をクリアした年男です。昨年の暮れからはアンチエイジングのつもりでスマートフォンに挑んでいます。と言いますのも先代から引き継いだこの会社も今年で齢50を数えることとなり、近い将来後進に対し事業が健康体のまま承継されるのが私の務めであります。幸い屋内、屋外を問わず身体を動かす機会に恵まれていますので自己の心身と会社の健康寿命の維持存続に努めたいと思います。

(昭和17年7月9日生 71歳)



(有)宮崎空調電設

宮 崎 雅 人

新年明けましておめでとうございます。

早いもので、今年で60歳を迎える節目の年となりました。電気業界に、皆様方と共に歩んで35年、いろんなことを経験させて頂き工事組合では、青年部部长、金石支部長、常務理事と多くの事業や行事に携わり「感謝」しています。

この多くの経験が、今の金沢市議会議員に繋がっていると思っています。

特に、防災事業（安全・安心）です。組合では、平成21年に石川県内、全市町と災害協定を結ぶなど石川県電気工事工業組合としての組織を上げて

取り組んでいる姿勢が県民・市民に理解を得られたのではないかと考えています。

これからも、組合の皆様と共に業界の発展と、防災への取組に努めていきたいと考えています。

最後に、組合員の皆様方にとって良い年になりますようにお祈り申し上げて新年のご挨拶と致します。
(昭和29年2月21日生 59歳)



桜田電気工事(株)

桜田 剛

おめでとうございます。早いもので4回目の午年を迎えました。

私達の午年は^{ひのえうま}「丙午」にあたり色々な年代の午年に比べるとかなり人数が少ないのが特徴です。ですから、これまでの人生の中であまり競争をした記憶が少なく、どちらかといえばのんびりとした環境で歩んできたように思います。これからものんびりと次の午年に向けて努力していきます。

(昭和41年8月23日生 47歳)



(株)ナカタク

中村 志保

新年あけましておめでとうございます。

元旦！私実は誕生日です(笑)。また一つ年を重ねてしまいました(笑)

青年部に入会しまして三年が経ちます。早いようでやっぱり早い。

最初は、女性として青年部の一員になりどうなるだろうと不安もあった記憶がありますが、今となれば正直心地よい場所のひとつとなっております。それも会員の皆様のお蔭であり、支えて頂いている組合のスタッフの皆様のお力だと心から感謝しています。ありがとうございます！

女性というポジションをいかに組合の中で生かし組合を盛り上げていくか？それが私の一番の目標でもあり役割だと日々考える中で、今まではまだまだ力を出し切れずにいる事も多々ありましたが、今年は、青年部役員という立場も1つの糧に、心地よい組合作り、もっともっと組合が発展・向上していく為にどうすればいいのか微力ながら皆様のお役に立てるよう精いっぱい努力していきたいと思っております。

敷居の高い固いイメージから、親近感のあるアットホームな組合作りが周りの皆様にも少しずつ伝わっていただければと願い、今年の自分の役割・目標といたします。

(昭和53年1月1日生 36歳)



(株)前越電化社

前越 雅春

あけましておめでとうございます。

バタバタとしていた2013年も過ぎ、新しい年2014年を迎えました。

私が青年部に入部して4年がたち、たくさんの部員の皆様に支えていただきながら今日にいたっております。毎年毎年、年齢を重ねるにつれたくさんの事を学びながら充実した毎日を送っています。

組合の行事に参加することにより人と人とのつながりや地域への貢献など、組合というものが広がっていく事に喜びを感じています。何かを作り上げ達成するという事を、組合を通して勉強させていただき、少しずつではありますが自分自身成長させていただいていると実感しています。

今年の目標はたくさん掲げる事はできませんが、実行し達成できる事を最大の目標とし、今年も組合青年部の一人として微力ながら頑張っていきたいと思います。
(昭和53年7月13日生 35歳)



能登本部



坂室電機(株)

坂室 正 昭

新年明けましておめでとうございます。

人生で6度目の年男となりました。

電気の世界で一生を定め、20歳までは勉強時代、60歳まで仕事時代、そして余生100歳までは仕上げる時代であります。

余生、およそ30年間は家族、社員、世の中に出るように奉仕、恩返しをするか考える今日この頃です。

(昭和17年3月5日生 71歳)



小林電気商会

小 林 光 義

新年明けましておめでとうございます。

電気工事組合に加入させて頂いて、お陰様で今年30年になります。この間たいした病気、けがも無く健康で仕事が出来た事に感謝しております。

近年の機器の情報、システムなど変化について

行くべく毎朝のラジオ体操、月1回の趣味の魚釣りで体力の保持、本を読めば良いのですが、苦手なので毎朝近所の友人とのミーティングと脳の活性に努力し、日々を大切に暮らしたいと思っております。

本年も組合員皆様にとってより良い年でありましようお祈り申し上げます。

(昭和29年1月1日生 60歳)



瀬戸電気商会

瀬 戸 信 之

新年あけましておめでとうございます。今年で還暦を迎えます。

縁あって、電気工事の仕事始めて26年、色々な方の御協力により今日があります。

義父が病気になり後を継ぐ事となりました。この不況の中大変ではありますが、自分の出来る事を精一杯頑張っていきたいと思います

組合員の皆様方の御多幸をお祈り申し上げますと共に今後とも御指導の程お願い申し上げます。

(昭和29年6月9日生 59歳)

加南本部



中谷電気工事(株)

中 谷 功

新年明けましてお目出とう御座います。皆様には健やかに初春を迎えられたことと思

います。私も七十二歳という新たな年明けを迎えることが出来ました。年男としての寄稿は、働き盛りを過ぎた身には気恥ずかしい思いがしますが・・・今日まで恙無く働いてこられた、節目の年を迎えることができたという幸せを思い、ペンを執りました。

まず神仏に感謝、先祖・家族に感謝、会社を支えてくれた皆に感謝したいと思います。若いバリアの同業者のなか、身も心も思うように動いてくれず、孤軍奮闘の様相を呈していますが、実際は様々な面でフォロー頂いて来たとします。

また、私には九十七歳の父がいます。年寄りくさくはなりましたが、今でも一日寝込むこともなく、畑か倉庫に向かいます。その姿が私の心を引き締めてくれます。幾つになっても父から学ぶことがあり、私に生涯が学びだと教えてくれている存在でもあります。

生活スタイルや意識の変化・新技術の開発など

追いつかないほどの情報に埋もれながら、常に危険を伴う作業故に、現場から無事に帰る皆の顔を見て、ほっとする毎日の連続ですが、ささやかな晩酌（休肝日と言われるのを諸ともせず）と、春・秋の山の自然と恵みに出会える楽しみが私の心に弾力と活力を与えてくれます。

今年も驚馬に鞭打って安全第一で、共に前進できる一年にしたいと思っています。本年も宜しく御願い致します。（昭和17年生）



東本電気(株)

東 本 一 郎

還暦って、どうよ

私は平成26年3月31日で六十歳になります。子供のころ六十歳というと大変な年寄のイメージがありましたが、自分がいざ、六十歳に近づいた今、そのイメージは全く違ったものとなりました。この感じは四十歳の初老の時も同じです。感覚的には年齢と実態が二十年とは言わないが、十年ぐらいのギャップを感じます。これは良い風に考えると「自分は若い」ということでしょうか。逆に「年齢に見合った思慮行動ができていない」ということも言えます。

若者のファッションに興味を持ち、私服はシブカジです。ミーハーな歌謡曲を口ずさみ、スマホやタブレット端末を使い（持っているだけとの噂も）妻や子供たちからは冷ややかな視線を感じております。一つ残念なことは、頭のてっぺんが地球温暖化に伴う北極海の氷状態であることです。これさえ無ければ・・・。

どんなふうに還暦を迎えるかは個人の自由です。でもどうせなら楽しくこの年齢を迎えてはいかがでしょうか。あと何年生きられるなんて考えるより、六十年も生かしてもらったことに感謝し、いかに素晴らしい、楽しい六十台を過ごそうかということに思いめぐらす。そんな還暦を迎えたいと思います。

街中で私を見かけたら声をかけてください。そして一言「いいね👍 Like」（昭和29年生）



松本電機(株)

松 本 賢 一

1966年（昭和41年）丙午（ひのえうま）の生まれです。当時の親達がこの干支に関する

迷信を信じていたか否かはわかりませんが、一学年上・一学年下と対比しても人数は少なめの学年でした。と、書き始めると24歳の年男の文章のようですが、実はその「倍」48歳です。やわら半世紀・・・と思うかもしれませんが、人生80年と言われる近代日本社会においては、折り返していたとしてたかだか8年、ひょっとしたらまだ折り返していないかもしれません。町内ではいまだに「でんきやのあんちゃん」と呼んでくれる人もいるし、先日もとある現場で「あんちゃん、社長によろしく言うといて・・・」と言われたことを思うと、まだまだ40代・50代は人としては、発展途上人であると感じています。

最近少々、腰と目（明らかに老眼）に若干違和感がありますが、親からもらって自身で磨きかけたこのキャラクターで、年男の大先輩である中谷さん・東本さんの背中を追っかけて、電気工事業界と加南電気工事工業組合の繁栄のために粉骨砕身頑張ります。（昭和41年生）



平成25年度 北陸電力(株)社長表彰

◆20ヵ年無事故無災害表彰受賞

〈金沢本部〉



フタクチ電設工業(株)
代表取締役
二口 昭純 氏

昭和42年10月河北郡高松町（現、かほく市）において二口電気商会を個人創業し、その後、昭和57年4月に法人組織フタクチ電設工業(株)に変更し現在に至っている。同社は、北陸電力株式会社引込線施工者業者、北陸電力株式会社の内線工事施工、北陸電力株式会社のe-ドクター認定店として

一般用電気工作物・自家用電気工作物の設計施工を現在まで45年間の永きにわたり、官公庁及び一般需要家等で多くの工事実績があり、事業主二口昭純氏は、人格円満にして常に組合員と融和を保ち、現在も安全作業に努めている。

同事業所は、電気保安確保と安全作業、施工品質向上を経営の最重点に掲げ、従業員の教育、免

許資格取得、安全教育に積極的に取り組み人材育成を経営理念に、関係団体主催の研修会や講習会にも積極的に参加するとともに、新技術を先取りし新分野にも意を注ぎ、事業拡大を図る等健全な発展を続けている。職場の自主安全管理活動を社内一丸となって確実に遂行し、工事施工にあたっては、作業安全と電気保安確保を最重点に掲げ、創業以来無災害を継続しており、お客様の信頼度も高い。これらに対して、北陸電気工事組合連合会長より無事故優良組合員の表彰を受賞している。

さらに、事業主である二口昭純氏は、昭和59年より昭和63年迄石川県電気工事工業組合理事（金沢本部河北支部長）、金沢内線工事研究会委員を歴任し、平成23年5月から二口勝博氏が、金沢本部引込線部長、金沢内線工事研究会委員を歴任し旺盛な熱意と卓越した指導力で、組合の発展と組合員の指導育成に尽力されている。

〈加南本部〉



中谷電気工事(株)
代表取締役
中谷 功 氏

外線工事施工者として、また一般用電気工作物並びに自家用電気工作物を施工、常に施工品質の高い工事を手掛け、官公庁、北陸電力株式会社小松支社さま、一般顧客さまには信頼度が高いと高評を得ている。

社長以下全社員が、無災害並びに電気保安をモットーとして不良工事は少なく、社長を軸とした自主安全管理体制も確立しており、41年間災害事故並びに電気事故は無く、発注者より信頼が高く県下模範の事業所である。平成24年には、北陸電力配電請負工事において無災害と高い施工品質を維持されているとし優良作業班長として宮崎毅志班長が受賞されている。

配電線事故復旧出動については、平成3年の台

風19号、平成21年の台風14号による七尾支社管内の塩害事故、最近では平成23年3月の東北地方太平洋沖地震で東北電力の復旧応援、平成24年4月の爆弾低気圧による小松支社管内の配電線事故に際して過酷な状況の下復旧作業に尽力された。

さらに、同社は省エネ電化機器普及拡販にも重点を置き、組合の主催する電化フェアに出展し実績を上げている。

現社長の中谷功氏は、人格円満にして常に組合員との融和を保ち、加南本部役員として組合諸活動に尽力されてきた。加南本部では、技術委員長、安全委員長、委託委員長として、配電工事の受注確保、安全作業の推進、施工品質の向上、配電線災害復旧訓練などに努めた。

地域社会においては、公民館長、小松中央ライオンズクラブ会長、国府校下体育協会会長、小松工業高校の野球部監督などを務め、地域の文化・スポーツ面に貢献されている。

平成25年度 北陸電気工事組合連合会長表彰

◆10ヵ年無事故無災害優良組合員表彰受賞

〈金沢本部〉



立野電気工事(株)
代表取締役
米澤 直明 氏

同事業所は、永年にわたり無事故を継続し、かつ電気保安に奨励されている。代表者米澤直明氏は、平成21年5月から石川県電気工事工業組合理事（金石支部長）・金沢本部外線部長として、さらに平成25年5月より石川県電気工事工業組合金沢本部副本部長として

組合員の指導及び業界の発展に尽力している。



さわだ電気工事(株)
代表取締役
澤田 博史 氏

同事業所は、永年にわたり無事故を継続し、かつ電気保安に奨励されている。代表者澤田博史氏は、平成23年5月から総代、平成25年5月からは石川県電気工事工業組合金沢本部広報部長として組合員の指導及び業界の発展に尽力している。

〈能登本部〉



(有)光陽電設
代表取締役
崎田 雅一 氏

代表者崎田雅一氏は、昭和43年3月電気工事業務に従事以来、安全管理に留意し無事故無災害を継続している。

昭和58年8月に光陽電設を創業し、昭和61年3月に石川県電気工事工業組合に加入した。

更に、平成7年1月に法人化して業務拡大している。

常に自己研鑽に努めながら作業安全・電気保安に厳しく取り組み、平成23年度から当組合総代及び能登本部内線保安部長として、夏期・冬期自主安全管理活動強調期間時には他部会員と共に組合員の作業現場等のパトロールを実施して組合員の安全意識の高揚を呼掛けている。

又、七尾木建安全推進協議会パトロール員として、七尾労働基準監督署係官と同行による木造家屋建築現場等パトロールを年2回実施している。

他にも、平成2年4月から平成15年3月には当組合能登本部七尾支部七尾班の主に世話役として組合員相互の情報伝達と融和に貢献して来た。

平成7・18・23年には、石川県電気安全協力七尾地区本部長より安全優秀賞を受賞、平成21年には七尾市長より技能功労賞を受賞している。

一方地域社会に於いても、七尾市体育指導員・七尾市矢田郷公民館社会教育推進員・古府町福祉委員等を歴任する等、地元住民からの信望も厚い。





石橋商会
代表
石橋 賢良 氏

代表者石橋賢良氏は、昭和48年10月電気工事業務に従事以来、安全管理に留意し無事故無災害を継続している。

昭和63年10月に石橋電気を創業し、平成元年3月に石川県電気工事工業組合に加入、平成9年8月に石橋商会に変更し業務遂行して

いる。

常に自己研鑽に努めながら作業安全・電気保安に厳しく取組み、平成20年度から5年間、組合総代として能登本部に於いては、監査及び厚生部長

就任時には、組合員の知識の見聞と融和を目的として、電材メーカー等の施設見学会等を企画開催して好評を得ている。

当組合能登本部組合事業は勿論、地元輪島支部及び関連諸団体の会合行事等にも積極的に参加する等、組合員相互の融和と協調性を果敢に呼掛けて来た。

平成7・14・21年には、石川県電気安全協力七尾地区本部長より安全優秀賞を受賞している。

地域社会に於いても、町内会役員を永年歴任し市祭の輪島大祭・輪島三夜踊り及び春・秋季町内一斉清掃等に果敢に参加して地域を盛り立てている。

〈加南本部〉



(有)オギノ電設
代表取締役
萩野 善久 氏

同事業所は、昭和61年の創業以来、無事故無災害を継続、安全作業の推進と電気保安の確保に精励してこられた優良事業所である。



宮前電気商会
代表
宮 前 勤 氏

同事業所は、昭和46年に創業、昭和63年に組合に加入以来、無事故無災害を継続、安全作業の推進と電気保安の確保に精励してこられた優良事業所である。



白山市技能功労者表彰

〈金沢本部〉



大竹電機㈱
代表取締役

大竹 成和 氏

大竹成和氏は、電気工事士としての技能が優れており、技術者として自ら多くの工事を完成させるとともに、後進にもその卓越した技術を伝授し、電気技術の向上に大きく貢献している。

更に平成14年5月～平成16年5月まで当組合の石川（現、白山）支部長として、組合員の指導と業界発展に寄与され、その功績は大きい。

小松市卓越技能市民賞

〈加南本部〉



(有)奥電気商会
代表取締役

奥 信 幸 氏

小松市の卓越した技能を有する市民を讃える賞として電気工事の部で受賞した。

45年の長きに亘り電気の保安確保に努め施工品質優秀につき讃えられた。

七尾市技能功労者表彰

〈能登本部〉



蔵谷電気
代表

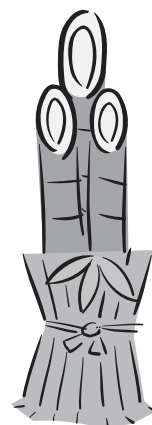
蔵谷 美喜蔵 氏

蔵谷電気 蔵谷美喜蔵氏は、昭和56年3月より電気工事業務に従事、平成2年11月に蔵谷電気を創業し、平成3年4月に石川県電気工事工業組合へ加入した。

電気工事業務に従事以来、安全管理に留意し無事故無災害を継続している。

当組合能登本部及び七尾支部、又関連団体の諸行事等には率先して参加する等して組合組織の結束及び情報の共有を図り、組合員相互の融和と親睦にも貢献している。

平成23年から当組合能登本部内線安全部会員として、主に夏期・冬期自主安全管理活動強調期間中に組合員の事業所並びに作業現場等への安全パトロールを率先して実施する等、組合員の安全意識の向上を図っている。



第30回電気工事業全国大会 大会決議

「安全・安心の提供」は、我々にとって永遠のテーマであり、東日本大震災をはじめとした自然災害の頻発している現在、電力の安定供給を担う業界として、更なる電気保安の確保、施工品質の向上に努める使命感とお客様に地域社会を支えるインフラである電気を24時間届けるという誇りを一層強くするところであります。

第86回通常総会において決議したとおり、今般の電力システム改革案については、電気保安の確保を大義とする立場から、第二段階までの改革は、時代の趨勢もあり時宜を得たものと理解するものの、第三段階の発送配電の法的分離については電気事業の過去の歴史、諸外国の例を見るまでもなく懸念される事項が多く明確に反対するものであります。

また、東日本大震災被災組合員に対する相互扶助の精神の発露に見られるように、固い組織であり、絆の強い組織であることが内外共に高い評価を頂いております。このようななか、本年6月「災害時支援に係わる全国工組連携協定」を締結致しました。

本日多くの組合員が集い国際都市横浜市において、「ひろがれ、つながれ、地域の絆！」をメインテーマに、災害時の支援のみならず、あらゆる観点から、我々中小企業者が一致結束し、相互扶助の拡大を確かめあうことと致しました。

また、サブテーマには、1. 安全安心、2. 環境とエネルギーの調和、3. 次世代への継承を掲げ、将来に向けての電気工事業界のあるべき姿について、基調講演を基に、各界の皆様方のご提言も頂き意見交換会を通じ討議しました。

本日、ここに全国各地から参加した組合員代表、青年部代表の総意として次の通り決議致します。

1. 国益の確保、環境とエネルギーの調和を第一とした、エネルギーの安定供給体制に向けて、電気のプロとしての強い自覚を持ってエネルギーの新たなベストミックスを発信する。
2. お客様から信頼される街の電気ドクターを目指すとともに、社会貢献による存在価値の向上を目指す。
3. 社会や業界の将来を見据えた、横に拡げる頑張る組合員の拡大により、次代を担う後継者育成を行う。

以上、関係行政、関係団体・企業等のご指導ご支援を頂きながら、これらの課題解決に向かって組合員の強い絆のもと邁進することを決議する。

平成25年11月14日

第30回電気工事業全国大会

第30回電気工事業全国大会 第1回 優良事業工組表彰

石川県電気工事工業組合 加南本部

地域貢献事業 **「配電線非常災害復旧訓練」**

銀 賞 受 賞

第30回電気工事業全国大会横浜大会において、当組合加南本部は「第1回優良事業工組表彰」で栄えある銀賞を受賞し、今出真稔常務理事が代表して事例発表を行った。

この賞は、全日電工連が、特色ある事業を行っている電工組の取り組みに対して、その努力と功績をたたえ、広く周知するために、事例発表並びに表彰を行い、また模範的な電工組を表彰することにより、連帯意識の高い「固い組織」「風を起こす・強い組織」ならびに地域に貢献する組織の確立を目指し、全国に啓発・普及を図る目的として創設されたものである。

第一回となる当制度には全国各ブロック連合会で選考した結果、23工組から25事業の応募があり、その中から銀賞に輝きました。事業地域貢献事業の特徴として、組合単体の訓練ではなく電力会社や自治体が参加していること並びに復旧工事だけではなく情報連絡も重視していること、さらに、訓練実施後に検討会を開き、情報の共有化・連携強化に努めていることなど、永年に渡る事業の継続と弛まない努力が高く評価された。

また、今後は県全体・北陸三県全体の事業になることに期待するものです。

◆◆◆◆各本部だより◆◆◆◆

金 沢 本 部

10月10日 青年部役員会

- ・ 防災訓練について
- ・ 組合シートについて
- ・ 技術講習会について
- ・ 他

10月16日 健康診断

本部役員会

1. 厚生・環境委員会報告
2. 防災訓練について
3. 技術部 計測器照合試験
第一種電気工事士技能講習会
4. 各支部・各部会からの報告
5. その他 献血協力依頼

製販工懇談会



10月17日 健康診断

10月22日 健康診断

献血



10月23日 健康診断

調査業務研修会

11月5日～7日 計測器照合試験



11月11日 青年部役員会

- ・ 防災訓練について
- ・ 経営講習会について
- ・ 他

広報部会

11月12日 経営セミナー



11月21日 常務会（県本部）

11月23日 青年部技術講習会



11月28日 本部役員会

1. 北陸電力株式会社様との意見交換会
2. 新加入者について
3. (県) 広報委員会報告
4. 防災訓練について
5. その他
・組合員の動静
6. 各支部・各部会からの報告
防災訓練



11月30日～12月1日

第一種電気工事士（技能）講習会



12月6日 県役員会

12月7日 外線・引込線部会会議

12月10日 雷に関する講習会

12月12日 本部役員会

1. 全体会議について
2. その他
3. 各支部・各部会からの報告

12月13日 内線交差パトロール

12月14日 青年部役員会

1. 技術講習会について
 2. 全国技能競技大会について
 3. その他
- 外線班長研修

■金沢本部防災訓練報告

本部役員会を開催中に金沢市内を震源に地震が発生し、一階のストーブが転倒し火が発生したとの想定の下、金沢市中央消防署の予防推進員、本部役員、青年部員、職員、厚生年金基金の職員も参加し、総勢40名で昨年11月28日に組合会館で防災訓練を行いました。

訓練内容は、避難訓練、消火訓練及び応急救急訓練の3部構成で行いました。避難訓練では非常階段を使って、駐車場まで避難致しました。駐車場では雨が降る中、推進員から避難訓練の総括を受けた後、消火器の使い方のレクチャーを受け、実際に水消火器を使用しての消火訓練を行いました。

その後、4階に移動し応急救急訓練として、現場で災害に遭った時に配管と作業着またロープを使った仮設担架の作り方や、レジ袋を使った止血方法を学びました。また、腕を骨折した際のレジ袋を使った固定方法も学び、災害に対する関心と知識を深めました。気を付けていても災害はいつ起きるかは、分かりません。災害が起きた時にい





かに対応するかが重要なのではないのでしょうか。今回の防災訓練でその心構えが少しでも出来れば幸いです。このような訓練は一過性で終わらせることなく、継続していくことが大事なので今年も引き続き、防災訓練を行う予定です。

■北組グリーン会

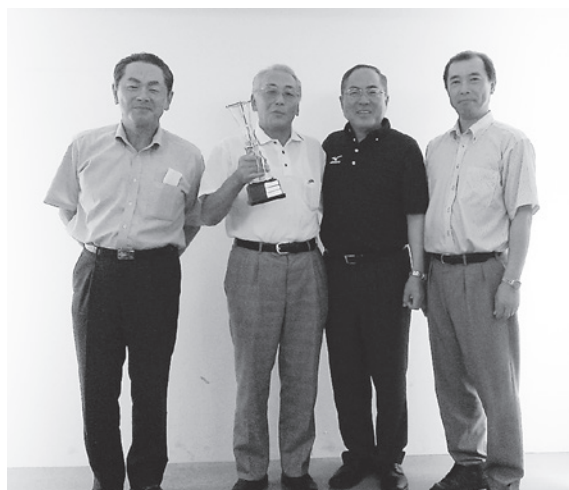
去る9月14日(土)に、恒例の北陸電力株式会社さまとの親睦ゴルフコンペを白山カントリークラブにて開催いたしました。

今年は台風の心配もありましたが、晴天で残暑が厳しい日となりましたが、多くのご参加(総勢36名)をいただきました。

今回もゴルフ&飲みニケーションで更なる親睦を図ろうと表彰式・懇親会も兼ねて別会場に設定させていただき、米沢理事長、石黒支店長のあいさつの後、表彰式・懇親会へと和やかでムードの中行われ、楽しい1日になったのではないのでしょうか。

表彰者上位は下記の通りです。

優 勝	由雄 一彦	常務理事 (株)河北電工社
2 位	杉田 康德	北陸電力リビングサービス(株) 課長
3 位	小竹 浩之	北陸通信ネットワーク(株) 線路施設部長
4 位	本庄 和夫	北陸電力(株) 配電工事課副課長
5 位	今出 真稔	常務理事 (株)今出電気商会
6 位	稲垣 健英	理事 稲垣電機(株)
7 位	宮内 竹彦	北陸電力(株) 配電サービス課課長
8 位	中村 唯夫	金沢本部長 (株)明生電気商会
9 位	泉 富夫	(有)泉電気商会 代表取締役
10 位 ベスグロ	中林 正人	北陸電力(株) 総務部 総務部長 OUT・41 / IN・42



写真左から 杉田氏・由雄氏・中林氏・小竹氏



金沢本部 支部だより

■兼六支部



支部長
吉野 正博

安全で安心な 電気エネルギー

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、ご健勝で新年を迎えられた事とお慶び申し上げます。自民党が政

権復帰して、一年がたち、景気の浮揚、産業の活性化等に力を入れて、大手企業は業績の回復が見られる様ですが、地方の中小企業は、まだまだ実感として感じられない所です。消費税の税率アップによる駆け込み需要で、住宅の新築、増改築の件数は伸びていますが、4月以降の需要の落ち込みが心配です。消費税の値上げはもう一、二年遅らせて欲しかったと思います。

再生可能エネルギー政策での太陽光発電の着工も25年度は伸びていますが、26年度の買取価格の値下げで需要が落ち込みそうなので、これも心配です。買取価格を余り下げないで、投資効果が見込める程度に止めて、

省エネルギーのLED照明等は、お客様に提案できる価格になって来たので電気工事業には良いチャンスだと思います。その他新しい技術や商品が次々に出て来ているので、組合員の皆様と共に、技術力の向上と習得に努めて、お客様に安全で安心な電気エネルギーを提供する事が電気工事業の使命だと思いますので頑張っていきたいと思います。

今年も活力のある電気工事業である様に願っています。

新年おめでとうございます。

今年も支部員の皆様方のご健勝をお祈りいたします。

2年目となる我が兼六支部では、今年は吉野支

部長のもとで、新たな企画を立てますので、皆様方の参加並びにご協力をお願いいたします。

1月初めに新年顔合わせを兼ね、恒例の新年会を早々に行い安全祈願祭をはじめとし、新年度に向けた新たな行事の草案をまとめたく、皆様方のご意見を寄せて頂きたいと考えております。

御連絡申し上げますので、支部員全員の出席をお願いいたします。

(記・赤丸 賢一)

■犀川東支部



支部長
岩田 時夫

新年ご挨拶

組合員の皆様には、ご家族や従業員の方々と共に、元気で新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、昨年も皆様方には、色々のご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

ました。

昨年を振り返りますと、領土問題等で隣国と一層ギクシャクの仲になり、見通しのたたない事態となっております。また、国内ではTPP、消費税の増税等政治の不信感があるものの、自民党が参院選挙にて大勝し、安定的な政治となったことで、秋頃から我が地方でも明るい兆しがみえてきたのではないのでしょうか。

さて、我々電気業界をみますと、電気事業法が成立した場合、送配電部門の分離などが進み、料金の自由化に拍車がかかることで、安定的な電気の供給問題や、過疎地の切捨て等の問題がクローズアップされてくるのではではないのでしょうか。組合本部でも、昨年以上に諸問題を少しでも解決しながら、更なる発展に努めていきたいと思えます。

また、当支部では昨年同様勉強会や会員同士の親睦を深めていきたいと思えますので、ご支援ご協力をお願いいたしますと共に、今年も良き1年でありますよう、ご祈願申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。本年も皆様の益々のご繁栄をご祈念申し上げます。

当支部では、昨年の7月30日(火)に金沢国際ホテルに於いて、提案型技術営業講習会を行いました。講師に石川電気安全サービススタッフを招いて、最近の調査状況及び今後の取り組みについてと、レベルの良い安全安心な電気工事についてなど、各支部会員の技術の向上と、日頃感じている疑問について討議を行いました。8月29日(木)に昨年から恒例となりました、納涼パーティーを金沢ニューグランドホテルに於いて行いました。今回は、前回からのリーピーターの方や、またその口コミなどで参加人数が増えました。前回同様、懇親を深めた方や、水分補給に来られた方、いろいろな方が居ましたが、やはり大勢でパッと盛り上がるのはいいものですね。今回出席できなかった支部会員の方は、今年は是非参加して下さい！

今年も、沢山の方々にご参加頂けますよう、宜しくお願い申し上げます。

(記・嶋田 愛彦)



■犀川西支部



支部長
大 地 実

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、お元気で新たな年を迎えられたこととお慶び申し上げます。犀川西支部長を仰せつかり、2年半が過ぎましたが実際支部の皆様方のお役に立てているのか心

配でなりません。昨年後半は、アベノミクスの成果でしょうか、一昨年と違いかなり忙しい半年では無かったでしょうか、消費税が上がるまでの忙しさで無ければ良いと思う次第です。総会では、出席率70%、親睦会50%で有り出席者数が少しでも増える様な企画を、考えて行きたいと思っています。微力ではありますが、私も支部役員と協力し、犀川西支部並びに、組合運営に取り組んで行きたいと思しますので、宜しくお願い致します。

最後になりましたが、支部の皆様方の今年一年も良い年でありますように、お祈り致します。

新年あけましておめでとうございます。

今年は、来春の新幹線開業に向けて、建設業に明るい話題も多くいい年になりそうな予感がします。支部の皆様にも、良い年でありますように、ご祈念申し上げます。

【行事報告】

7月18日(木) 支部親睦会(マリアージュ玉姫殿)

10月17日(木)～20日(日) 研修旅行(台湾)



中正記念堂にて(蒋介石元総督を偲び建てられた)

12月18日(水) 役員会

【行事予定】

2月 総会・新年会

2～3月 研修会（勉強会）

今年も、沢山の方々にご参加頂けますようよろしく願い申し上げます。

（記・黛 孝彦）

■みなと支部



支部長
忠村 光宏

新年のお慶びと支部の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年は、1月26日の金石支部の総会にて、初代みなと支部の支部長をおおせつかり5月22日の総代会をもちまして、正式にみなと支部が認められ、活動を行ってきました。7月の安全祈願祭に始まり、10月6日の内灘町サイクリングターミナル内のパークビュー場での家族リクリエーション、11月27日のアイパッド等の講習会等の行事を西部支部（旧金石支部の範囲）と合同で行い、8月29日のゴルフ大会においては、犀川東、犀川西、白山支部の方々の参加をいただき、急きょ支部対抗戦の大会となり、楽しい1日が送れたと思います。各行事に参加していただき、ありがとうございました。

今月は新年安全祈願祭、新年総会があり、26年の行事が始まります。支部の皆様には、沢山のご参加をお待ちしております。

最後に当支部より、本部の各部会に出席された役員の皆様、総代の皆様、三役会を始め役員会、行事の準備等1年間、本当にありがとうございました。26年も引き続き宜しくお願いします。

新年明けましておめでとうございます。旧年中も当支部活動にご理解を頂き誠に有難うございます。昨年5月の総代会以降金石支部が二つに分かれ人数的には、半分になってしまいましたが、今後も西部支部さんと手を取り合い共に活動して行きますので、よろしくお願い致します。

【行事報告】

8月29日（木） ゴルフコンペ

金沢リンクスで29名参加の下、西部支部合同ゴルフコンペを開催しました。今回は他支部のみなさんにも声を掛け支部抵抗のチーム戦でも競い合いました。成績は次の通りです。

優 勝 桜田電気工事(株) 桜田 剛

準優勝 柴電気工事(株) 黛 孝彦

3 位 山崎商事(株) 丸尾 治

以上の方々です。米沢理事長は惜しくも4位でした。

チーム戦では接戦の末、犀川西支部が優勝しました。今年も企画致しますので、沢山のご参加お待ちしております。

10月6日（日） 家族レクリエーション開催

西部支部合同開催

11月22日（木） 研修会開催（iPadセミナー）

西部支部合同開催

【今後の行事予定】

1月10日（金） 安全祈願祭（大野湊神社）

1月 総会

（記・刀根 正夫）

■西部支部



支部長
上村 和弥

新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年発足いたしました西部支部も新しいスタートをきり、よちよち歩きながらも新年を迎えることができました。これも日頃より当支部に対する皆様の協力、ご支援の賜物と感謝しきりであります。

本年は消費税増税の年でもあり年度末を迎え駆け込み需要を控えて、なお一層多忙な年度末になる懸念もあります。

また昨年は食品偽装で暮れた年でもありましたが、我々自身組合員としての自覚と矜持を以って

一層技術の研鑽に励み、うそ、偽りのない確かな仕事ぶりで、暮らしの安心、安全を支える地域の電気工事組合の一員として、より良き年にしたいものであります。

そのためにも西部支部の事業の充実をはかり少しでも皆様に喜んでいただける西部支部をめざしてまいりますので、役員、支部組合員の皆様の協力を昨年同様賜りますようよろしくお願いいたします。

また昨年より安全祈願祭等、合同事業などで二人三脚でともに歩んでまいりましたみなと支部の諸兄におかれましても昨年同様の協力をお願いするものであります。

最後に今年は午年でもあり我々自身、業界の優勝をめざして、飛躍の年にするとともに、無事故、無災害を貫徹し、笑って過ごせる一年にしましょう！

西部支部では、本年度はみなと支部と合同の行事が続きました。

8月29日 支部対抗のゴルフ大会が金沢リンクスにて行われました。



10月6日には、家族バーベキュー大会が行われました。大人32人、小人10名の参加でした。その日は天気もよく、家族また、従業員の方も楽しんでいただけたと思います。とくにみなと支部の刀根さんには“名物”の豚汁をふるまっていただきました。本当にごちそうさんでした。



11月27日 組合会館にてiPadセミナーを開催しました。参加者16名。

iPadを使ってスケジュール、マップ、ビデオ通信、iBooks、名刺管理の活用等有意義な講習会になりました。



今後の行事予定として、1月に安全祈願を予定しています。

(記・高木 等)

■白山支部



支部長
中山 和彦

新年あけましておめでとうございます。

本年もよろしくお願い申しあげます。

昨年は、国の施策で景気回復の兆しが見えてくる中、私たち石川県民は、待望の新幹線開業前のおおりで忙しい年ではなかったか

と思います。

その忙しい中でよく聞いた言葉は、「電気工事屋の人手が足りない。」でした。

なぜ電気工事屋が足りないのかを考えると、若い世代で電気工事業に従事したいと思う方が少ないのでは無いかと思います。やはり私たちがこの業界を魅力的な業界にする為に電気工事工業組合員お互いに、切磋琢磨していかなければならないと思います。

本年も厳しい中でも「昨年以上忙しい一年だった。」と言える年になるように切に願います。

白山支部長の大役を仰せつかりまして約1年が経ちますが、金沢本部と白山支部と情報交換を活

発にし、組合員各社の繁栄の手助けになるように、「強い組織作り」を目指して、皆さんと一緒に取り組んで行きたいと思っております。

皆様一人一人のご協力を改めてお願い申し上げます。

今年は午年、何事も「ウマ」くいく年にしたいと思います。

【8月～12月中の事業報告】

8月24日 電気使用安全月間行事（奉仕作業）
及び昇柱訓練

8月29日 支部対抗ゴルフ大会参加
みなと支部主催
（ゴルフ倶楽部 金沢リンクス）

8月30日 あと施工アンカー認定講習会
「サンコーテクノファスニング講習」



9月29日 「白山・白川郷100kmウルトラマラソン」ボランティア参加

10月4・5日 計器照合試験

11月3日 研修旅行
志賀原子力発電所見学と日本一の宿
「加賀屋」で昼食



12月14日 支部役員会（第3回） 花月荘

【1月からの行事予定】

1月 安全祈願祭 （未定）

2月1日 支部役員会（第4回）及び支部新年会 （未定）

2月12日 内工研大研修会
白山会場十三時半

4月 支部役員会（第5回） （未定）

（記・前越 利春）

■河北支部



支部長

勝 崎 悟

新年明けましておめでとうございます。組合員皆様方に謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は河北支部長を仰せつかり改めて重責を感じている所存です。支部運営に關しては諸先輩方の御指導・ご鞭撻を頂き、何とか

1年が過ぎようとしています。

当支部としては1名の新会員が入会して33社で構成されています。

今年の干支は甲午です。何事も「うま」く行く、坂道を駆け上がると言われていますが、その通りになってくれると幸いです。

4月から消費税8%となり今後の経済状況がとても心配です。しかし、消費税率アップによる「かけこみ需要」、1年あまりに迫った北陸新幹線の開業の「波及効果」、アベノミックスによる「景気対策」この3本の矢で何とか乗り切っていきたいものです。

最後になりますが、組合員の皆様方の益々の御繁栄と御健勝を心から御祈念申し上げて新年の挨拶とさせていただきます。

【行事報告】

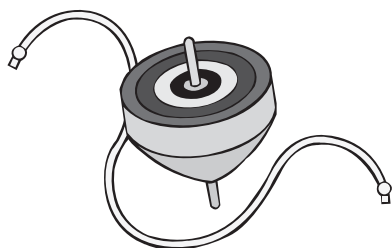
7月1日(月) 安全祈願祭

俱利伽羅不動寺（津幡町）

祈願祭終了後、昇柱教育訓練

石川県漕艇場（津幡町）

- 参加人数33名
- 7月19日(金) 電気使用安全月間行事
街路灯点検及び清掃
住吉公園(津幡町)
参加人数18名
- 8月2日(金) 支部役員会
ホテル金沢(金沢市)
- 8月22日(木) トルクドライバー・計測器照合試験
今城電気工業(株)(かほく市)
- 9月13日(金) 支部役員会
松の寿司(かほく市)
- 10月26日(土) 支部研修旅行
錦秋スペシャル(南信州方面)
参加人数30名
- 11月9日(土) 支部女性の集い はづ貴(内灘町)
参加人数11名
- 12月13日(金) 支部役員会 ゆうき(内灘町)
- 【今後の予定】**
- 1月10日(金) 安全祈願祭
俱利伽羅不動寺(津幡町)
祈願祭終了後 河北支部総会
和倉温泉(多田屋)
- 2月19日(水) 内線工事大研修会
トルクドライバー照合試験
文化会館シグナス(津幡町)
(記・坂室 正司)



金沢本部 部会だより

■厚生部 部長 川部 勇

新年明けましておめでとうございます。

日頃は何かと厚生部の行事にご協力頂きありがとうございます。

健康診断受信者数 618名(4日間延べ)

献血推進活動の結果は下記の通りです。

献血推進結果

項目 年度	月 日	受付者数	献血者数(名)	
			計	内 訳
平成23年度	10月18日(火)	90	77	200ml献血 8
	三日目			400ml献血 69
平成24年度	10月23日(火)	100	78	200ml献血 8
	三日目			400ml献血 70
平成25年度	10月22日(火)	98	80	200ml献血 11
	三日目			400ml献血 69



これからまだまだ寒い日が続きますが、皆様方にはどうぞお体を大切に健康にご留意ください。

■安全部 部長 寺沢 進一

皆様、明けましておめでとうございます。昨年中は安全部の活動にご理解とご協力を賜り、有難うございました。昨年の活動を以下にご報告申し上げます。

- 5月29日 建災防通常総会
- 7月10日 木建パトロール
- 7月18日 高圧絶縁防具耐圧試験
- 8月8日 文化財等の電気設備点検
- 8月28日 臨時電気施設点検パトロール

9月10日 木建パトロール

11月14日 安協委員会

12月13日 木建パトロール

皆様の各事業所におきましても、常に災害ゼロを目指して取り組んでいらっしゃることは存じますが、毎年、数件の災害は起きています。今後も従業員お一人お一人への安全指導を更に徹底し、本年が皆様にとって無事故・無災害の1年になりますようお祈り申し上げます。我々安全部も更なる精進を重ね、皆様方の災害ゼロへの一助となるよう取り組んでまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

■外線部 部長 安井 健一

外線部は年度当初に掲げた「安全優先」「品質維持」「人材育成」の3つを重点目標として活動しておりましたが、最も優先しなければならない安全を蔑ろにする由々しき事態が起きました。今まで築き上げてきた信頼・信用は失墜しました。今一度、初心に返り「安全優先」について徹底的に教育し、二度とこのようなことが起きないように致します。

「品質維持」については、北陸電力竣工検査より指摘される不良工事件数並びにパトロールによる指摘件数が石川支店管内において24年の6件より1件と減少しました。これも各社の班長、班員が一丸となって品質向上に取り組んだ結果だと思えます。26年は不良工事並びにパトロールによる指摘件数ゼロを目指し、さらに品質向上に努めて頂きたいと存じます。

「人材育成」については県本部主催の「若年者教育」「班長教育」への協力にとどまり、金沢本部外線部単独での行事を開催することができませんでした。しかしながら、これら2つの教育行事へ参加することで県レベルでの人材育成に貢献することができたと感じております。

また、年末に外線・引込線施工者合同会議を開催し、業者間の親睦を深め、業者間の密な連携をとる下地作りをすることができました。このような合同会議を定期的に開催し、配電線を保守する体制を更に強めていこうと思います。

これからもライフラインを支える一員として業界に貢献できるよう日々精進し、外線部を再生させますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

【行事報告】

9月24日 配電工事安全技能競技会

12月3日 北陸電工連配電工事業者安全大会

12月7日 外線・引込線施工者合同会議

■引込線部 部長 二口 勝博

【行事報告】

9月20日 引込線工事施工者会議

・組合研修室

北陸電力株式会社様との引込更
新工事の改修率向上について

9月24日 配電工事安全技術者競技会

・富山市北陸電力株式会社研修セ
ンター

11月27日 災害疑似体験研修会

・金沢市田上訓練場

12月3日 北陸電工連配電工事業者安全大会

・富山第一ホテル

12月7日 外線・引込線施工者合同会議

・河北郡津幡町 勝崎館

内線工事業者の方には日頃から引込線工事に御理解、御協力を頂き感謝申し上げます。

申込み時には受点高さ、道路上高さ、弱電線との離隔、距離等今一度確認の上取付点工事をお願い致します。

寒さも本番となり足元も悪くなります。

引込線希望日に工事を行える様に努力致しますが、早めに受点工事を終わらせて日にちにゆとりをもたせる様にお願い致します。

■技術部 部長 出口 巖

新年明けましておめでとうございます。昨年は技術部員の皆様のご協力の下、下記事業を遂行させて頂きました。

第一種電気工事士（筆記試験）準備講習会

平成25年9月7日(土)～9月22日(日)

※土、日 6日間にて開催

第一種電気工事士（技能試験）準備講習会

平成25年11月30日（土）～12月1日（日）

※土、日 2日間にて開催

《25年度 電気工事士試験合否結果》

		受験者数	合格率		
			金沢本部	北陸三県	全国
第二種	筆記	29名	58.6%	66.1%	63.0%
	技能	30名	96.7%	83.0%	78.1%
第一種	筆記	16名	25.0%	39.5%	40.1%
	技能				



計測器照合試験（下期）

金沢地区：平成25年11月5日（火）～7日（木）

3日間

白山支部：平成25年10月4日（金）～5日（土）

2日間

河北支部：平成25年8月22日（木）

《25年度台数》

金沢地区		白山支部	河北支部
上期	下期		
721台	451台	170台	122台



■経 営 部

部長 桜田 剛

新年明けましておめでとうございます。昨年は2つの事業を開催させて頂きました。

1つ目は10月に製販工合同会議を行いました。メーカー3社、販売店8社、金沢本部29名の方に参加を頂き、メーカー各社より「節電（POWER SAVING）に対する取り組み」をテーマに各社の考えを話して頂きました。その後の意見交換会でも、原発がなかなか稼働できない現状から、国の政策に対しメーカーの取組みが現状どこまで実行されているのか等、活発な質疑もあり参加者の意識の高さを感じました。しかしながら、メーカー各社も新技術の開発といったところでは目新しい物が無いのも現状であると感じました。



2つ目が11月に経営セミナーを開催いたしました。講師として（株）金沢倶楽部 代表取締役 山田元一様をお招きし、「北陸新幹線の開業を迎えて」と題し講演をして頂きました。山田講師からは北陸新幹線開業による人の流れの変化や、各自治体の取組み等、多岐に渡る展望や現実を話して頂いた中で、我々の業界にも、色々と絡みがあり先は明るいとの話もあり、参加者は年越しを前に希望の持てる話を聞かせて頂きました。

今年も1年宜しくお願いします。



■環境部

部長 柚木 賢

環境部と致しましては昨年度に引き続き年間活動に応じたポイント累積による表彰制度を行っております。この「こうほう」が出るころには、上位表彰者が大体決まってくるのだと思いますが今年の特徴としては、一部の電気工事店だけでなく幅広く皆さんが活動されていて特に外線、引込工事業者の方の活躍が目立ちます。

又、当部会の瓦版である「環境部通信」も好評で、回を重ねるごとに内容も充実してきたと自負しております。

さらに昨年秋の環境部主催のセミナーでは、全日電工連、提案型技術営業講師である北栄電設株式会社代表取締役、渋谷武氏を講師にお招きして「提案型技術営業と戦略づくり」と題してご講演いただきました。53名が集まる中、セミナーでは、お客様との信頼関係を構築し、受注から創注へ営業転換等、熱心に分かりやすくお話していただきました。



又、今年も上期と下期に組合員向けのキャンペーン「省エネ生活・エコ替え応援キャンペーン」を行ないました。少々マンネリ化の面もありますが上期はまずまずの成果を得ることが出来ホット胸をなでおろしております。下期も「省エネライフ・エコ替え応援キャンペーン」も最後の追い込み中ですので、どうかよろしくお願いいたします。

金沢本部 青年部だより

【平成25年度青年部活動報告】

7月25日、組合本部にて経営講習会「第1回これだけは押さえておきたい。決算書のポイント」を開催し、19名の参加をしていただきました。

決算書の見方、利益を上げるための決算書作りのポイント等、これからの企業の向上に大切なアドバイス等たくさん教えていただきました。



更に11月23日、組合本部にて技術講習会「フォークリフトの運転の業務」特別教育を開催し、18名の参加をしていただきました。

はじめに学科講習をおこない、フォークリフトの取り扱いについての知識、災害事例、関係法令等解説していただき、引き続き屋外にて実技講習を行い、実際にフォークリフトに乗り込み、注意点等アドバイスをいただきました。

26年も青年部ではたくさんの、講習を開催したいと思いますので、多くの参加をよろしくお願い致します。



能登本部

- 10月3日 再発防止理解度向上教育説明会
配電工事（外線）施工者
1）一般的に共通する作業における再発防止施策
2）高所車使用に関する再発防止施策 他
- 10月5日 第一種電気工事士（筆記）受験準備講習会 7名
- 10月7日 昇降柱及び作業安全教育
（於：上町集会場、旧上町小学校グラウンド） 18社/35名
1）昇降柱及び作業安全教育・訓練要点確認
2）昇降柱及び作業安全教育・訓練の役割分担等について
3）昇降柱訓練実技



- 10月7日～8日 活線・活線近接作業員認定教育
配電工事施工社 4社/5名
1）安全教育
2）配電作業安全指針 他

- 10月9日 環境委員会（於：県本部） 委員 他
- 10月10日 配電課長会議（於：県本部）
配電課長
- 10月11日 七尾市技能功労賞選考委員会
（於：七尾市役所） 七尾支部長
- 10月12日 第三者損害賠償制度事故調査委員会
電設保守担当 他
- 10月15日～17日 羽咋工業高校実習生受入
[七尾・羽咋支部] 10社/19名
- 10月18日 消費税転嫁対策説明会
（於：能登空港ターミナルビル）
4社/5名
- 10月22日 配電・安全合同会議（於：県本部）
委員 他
事務局会議（於：県本部）
配電・業務課長
- 10月29日 安全協力会七尾地区本部
交差パトロール 配電課長
- 10月30日 支部長会議/災害復旧訓練企画取組み検討会議
1）災害復旧訓練企画開催等について
2）平成25年度 下期事業運営諸般について 他
- 10月30日～11月1日 配電自動化工事資格者新規講習
（於：金沢） 6社/13名
- 11月5日 企画広報部会議
1）県「こうほう」第130号〔新春特集号〕の発刊について
2）県「こうほう」第130号〔新春特集号〕の原稿募集について
3）「工組能登」第70号〔新春特集号〕発刊の取扱いについて 他
配電自動化工事暫定資格者更新講習
6社/21名
広報委員会（於：県本部） 委員 他

11月8日～9日 大阪：奈良方面パナソニック
センター大阪及びパナソニック
ミュージアム松下幸之助歴史館視察
と奈良公園等散策研修会 11名



11月12日 監事会（於：県本部） 監事

11月14日 電気工事業全国大会（於：横浜市）
本部長 他

11月20日～28日 高所作業車（バケットライ
ナー、第3ブーム）耐電圧試験
14社/31台

11月21日 常務会（於：金沢） 本部長 他

11月23日 七尾市技能功労賞表彰式
（於：七尾サンライフプラザ）
七尾支部長

11月25日 昇降柱及び作業安全教育
（於：電力矢田新訓練場） 17社/20名



11月29日 第一種電気工事士(技能)受験準備講習
会開催に伴う事前準備(資材揃え)会
部会員 他

11月30日 災害復旧訓練
（於：電力社有地/穴水町） 26名
昇降柱及び作業安全教育
（於：電力矢田新訓練場） 9社/9名



11月30日～12月1日 第一種電気工事士（技能）受験準備講習会 3名



12月2日 安全協力会七尾地区本部推進委員会（於：電力七尾） 委員 他

12月3日 北陸電工連配電工事業者 安全大会（於：富山） 配電工事施工社

12月6日 北陸電力 社給資材臨時棚卸 役員（理事）会（於：金沢） 本部長 他

12月7日 技術経営部会議
1) 第二種及び第一種電気工事士（筆記）試験の結果報告
2) 第二種及び第一種電気工事士受験準備講習会の反省について 他

12月10日 本部長会議（於：県本部）本部長 他
雷対策講演会（於：石電工組会館）

12名

12月11日～19日 間接活線工具・電線離隔器耐電圧試験 配電工事（外線）施工者

12月12日 役員会・配電工事施工者合同会議
1) 平成25年度 冬期自主安全管理活動強調期間について
2) 平成25年度 下期（第4／四半期）事業・配電工事運営諸般について 他

時局講演会

講師：北陸電力株式会社
七尾支社長 藤田 徹 氏
営業部長 寺分 博 氏
演題：電気事業を取り巻く現状と今後の電力需給等について

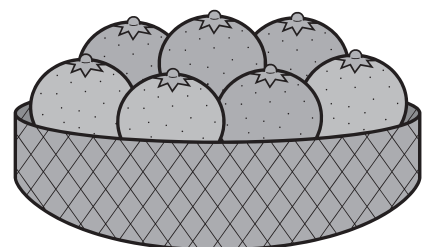
12月13日 内線工事特別安全パトロール（各本部間の交差パトロール）

委員 他

事業所 2件
作業現場 3件

能登／金沢本部委員

12月14日 外線工事施工者 班長教育 10名



加南本部

10月7日 非常災害復旧訓練打合せ

10月8～9日 定期健康診断

場所：加南本部

受診者272名



10月10～15日 メガー・アーステスター・トルクド
ライバー計測器校正試験（小松支部）

// 内線施工者：防保護具耐圧試験

10月11日 非常災害復旧訓練看板設置作業

広報委員 8名

10月18日 配電線非常災害復旧訓練 80名
日末蓮池公園

10月24日～28日 仮設GS耐圧試験 7台

10月23日 第2回広報厚生委員会 13名
下期事業運営諸般について

10月28日 省エネ電化フェア2013実行委員会・
第4回SES委員会 26名

10月28日 ビジネスマナー講座
グランティア小松エアポート 20名

10月29日 安協交差パトロール
村井配電課長 能登島

11月5日 県広報委員会
広報誌第130号の発刊について

11月6日 第2回役員会
下期事業運営諸般について 15名

11月12日～13日 内線施工者昇柱訓練

12日……7社 32名

13日……14社 20名

指導者：配電施工者班長



11月14日 第30回電気工事業全国大会 横浜
全日電工連第一回優良事業工組表彰

「配電線非常災害復旧訓練事業」

……銀賞

「電気使用安全月間ポスターコン
クール事業」……優良賞

11月21日 省エネ電化フェア準備作業 18：30

6名

11月23日～24日 省エネ電化フェア「かけはし」

来場者数 233名

試算件数 168件

参加店 11社

11月25日 委託委員会（外線業者） 6名

11月27日 厚生制度研修会 20名

・全日電工連各種認定制度改定説明会

東芝保険サービス 名波谷 様

日本興亜損害保険 盛岡 様

・組合福利厚生制度研修会

組合担当職員



11月30日～12月1日 省エネ電化フェア

「アピオシティホール」

来場者数 235名

試算件数 199件

参加店 6社

12月2日～19日 小松支部別懇談会

各地区開催

12月3日 連合会配電工事安全大会

20カ年無事故無災害北陸電力社長表彰

中谷電気工事(株)

10カ年無事故無災害北陸電工連会長表彰

(有)オギノ電設

〃

宮前電気商会

12月3日～6日 第一種電気工事士技能試験講

習会

受講者8名



12月9日 第3回広報厚生委員会 10名

12月9日 配電施工者打合せ 12名

12月10日 県環境委員会講演会 21名

「雷害対策」並びに「北陸電力の現状」

講演会 15:00～ 県会館

講師：北陸電力株式会社

中田小松支社長

12月13日 県下内線工事特別パトロール 5現場

12月15日～平成26年2月28日

冬期自主安全管理強調期間

平成25年度 配電線非常災害復旧訓練

担当委員長 松本 賢一

10月18日(金)、小松市日末町地内の日末蓮池公園周辺で「平成25年度配電線非常災害復旧訓練」を実施した。

生活に欠かせないライフラインの1つである電気が災害で止まり、それを迅速に復旧することを目的に平成14年度から実施している。

今回は、台風(暴風)により南加賀地方が甚大な被害に遭い、小松市日末町地内においても飛来物や倒木により、配電線事故が随所で発生したことを想定。

e-ドクターの情報をもとに復旧を行い早期情報提供及び迅速かつ安全な復旧訓練により、工事の技能向上を図る。

この日は、加賀市、小松市の行政防災担当者、北陸電力小松支社、組合員ら約100名が参加。

日末蓮池公園周辺でA～Cの3地点に分かれて、移動変圧器車によるポンプ場への緊急送電と変圧器の吊替・引込線断線復旧。電柱折損による高圧線断線復旧、低圧発電機車による病院への緊急送



開始式



北陸電力の模擬指令室

電。緊急避難場所へ高圧発電機車による緊急送電並びに樹木伐採と引込線断線復旧など、本番さながらの訓練に臨んだ。続いて、小松市消防本部による災害現場での救急蘇生法の実演見学並びに研修も行われ、参加者は真剣にAEDを使った蘇生法を学んだ。

引続き、会場を会館研修室に移し反省会を行い、

その中で、災害時の通信設備の機能強化。24時間受付窓口の開設などが課題とされ、その取り組みとして、事業を継続してより復旧工事の技術向上と体制の強化を図ること。自治体側の復旧作業と連携した災害復旧訓練の模索をしていきたい。また県単位での取組さらには北陸三県大での広域的な復旧訓練にもチャレンジしていきたいとした。



復旧班の出動



復旧作業



復旧作業



病院への復旧送電作業



自治体防災担当者の見学



救急蘇生法の訓練



現場での講評



机上での反省会



省エネ 電化フェア

SES委員長 荒河 隆宏

小松会場は11/23～24 省エネ体験館「かけはし」で、加賀会場は11/30～12/1「アビオシティホール」で開催した。組合員参加事業所17社、北電リビングサービスさまの絶大なご協力の下、電材店さま、メーカーさま各社のご協力もあって集客者数は500名にあと一歩だったが、省エネ機器の体感や省エネ試算をお奨めしていた。後々のご成約に提案営業力を発揮して頂きたいと思います。



「未来の電気工事士」 事業を開催して

加南本部青年部 次世代交流会委員長
山 本 威 (㈲ヒカリ電業所)

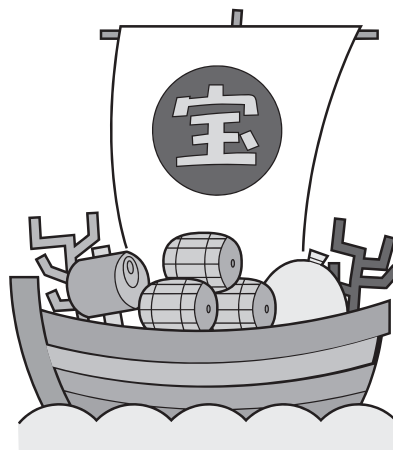
次世代交流活動の一環として、10月13日(日)小松市商工祭どんどん祭りにおいて「未来の電気工事士」事業を行いました。

今年も昨年同様、テーブルタップの作成を行いました。当日は天候に恵まれ子供さんだけでなく大勢の方々に足を運んで頂き、毎年催すにつれてお客さんが増えてきて、又電気に関する質問等も多くなり「継続は力なり」と言う言葉通り私たちの目的の一つでもある「組合のPR、一人でも多くの方々に対して電気に関する正しい知識、興味などを持っていただけた」と肌で感じました。

興味本位でコーナーにみえて次第に夢中になっていく光景を見ると主催者側にとってこの上なく

嬉しい限りでした。又、工作に興味を持っている中で、電気の危険性、正しい使い方等を教えられた事は非常に有意義でありました。

今回の「未来の電気工事士」事業の開催にあたり大盛況の内に終了出来ました事を、加南本部並びに青年部員のご協力に感謝するとともに、引き続き次世代交流委員会の活動にご理解ご協力の程宜しくお願い致します。



◆◆◆◆◆ 青年部だより ◆◆◆◆◆



『個』を結集させ、『横』の連携を

県青年部長

山 内 謙 一

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より我々青年部に対して、ご理解とご支援を賜りますことを感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、アベノミクスの進展により電気工事業界は活況を呈し、今年4月に予定されている消費税増税の駆け込み需要の側面もあると思いますが、休日もないほど忙しい日々が続きました。消費税増税により上昇局面の景気に水を差す可能性もあり、また太陽光発電などの新しい技術革新で他業種からの参入が多くなるなど、経済環境に変化が起きています。

しかし、経済環境が変われば、その環境に対応すれば良いのです。そのために青年部があると思います。青年部員は、事業後継者という同じ立場であり、良き仲間、良きライバルでもある中、変化のある時代には『個』の力での対応には限界があります。情報の共有化などを図り『個』を結集させ、『横』の連携を更に強める必要があります。そのため、昨年の青年部では、意思を共有し、一体感のある活動方針の下、同一日に電気使用安全月

間の運動（各本部の都合もあり、2本部）を開催しました。この目的の趣旨は、みんなで同一日にやることにより、『横』の連携もとれ、しかも組合活動として対外的にも大きくアピールが出来ると思ったからです。

また、全国大会でもその機運が高まり、全国の青年部も同一日に同一の事業をしようと計画をしています。第30回電気工事業全国大会（横浜開催）の大会決議の中に“社会や業界の将来を見据えた、横に拡げる頑張る組合員の拡大により、次代を担う後継者育成を行う”とあります。全国の組合員の総意に応えるべく、我々青年部は“してもらおう”だけではなく、自ら考え、自ら行動することにより、大会決議に恥じることがないような青年部を目指します。そのための活動なら寸暇を惜しまず、強力に推し進めて参ります。

最後になりますが、今年も青年部一同、一丸となって頑張っていきますので、相変らぬご指導、ご協力を宜しくお願い致します。

◆◆◆各本部青年部だより◆◆◆



金 沢 本 部

青年部長

大 地 正 喜

新年明けましておめでとうございます。
日頃より青年部活動に対して、多大なるご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年4月の総会で金沢本部青年部の部長に就任することになりました大地です。

前任の山内部長から受け継いだ『自ら学び自ら行動し、次世代に伝えよう』のスローガンのもと、～人とつながり、未来へつなげる新たな挑戦～をサブタイトルとして青年部活動に邁進しております。

我々青年部は、若い今しか出来ない事を積極的に行うことが必要であると考えます。そのために技術講習会、経営講習会を合わせて年に4回程開催しています。開催するに当たり、各役割を担当の委員会に分担し、責任を持って協力して行うことで、人と人とのつながりを持ち、そのことが将来必ず活かされ役に立ってくると信じております。

お客様のニーズも急激に変化している現状で、いかに素早く情報を捉え自分たちのものにしていくか、また電気工事業界にその流れを持ってこられるように、情報交換が重要になってきます。若い世代から繋がりを大切に、未来の電気工事業界の発展に努めていきたいと思ひます。

又、青年部活動にあまり参加されていない方々にも、出来るだけ参加しやすい雰囲気づくりを心掛けていきますので、皆様で青年部としての輪を一層広げていきましょう。

今一度、皆様方に更なるお力添えをお願いいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



能 登 本 部

青年部長

澤 井 孝 幸

新年あけましておめでとうございます。
皆様におかれましては輝かしい新年を迎えられましたことと心からお慶び申し上げます。

昨年の主な青年部活動として、8月に羽咋市管内で、一人暮らし高齢宅の無料配線工事のボランティア活動をしました。諸先輩方のご協力、青年部員達のがんばりにより、大変有意義な活動になりました。ありがとうございました。この活動は昭和50年から始まり昨年で丁度40回目となりました。これもひとえに諸先輩方のたえまぬ努力のたまものだと思います。私達青年部員は、これからも先輩達に負けないよう努力し、後輩達に伝えていきたいと思ひます。

他には、11月に広島へ研修旅行に行きました。アベノミクス効果、消費税増税によるかけ込み需要のため、みなさん大変いそがしく、青年部員同士の話し合いの場をつくるのが困難でしたので、今年は昨年以上の活動、PRをしていきたいと思ひます。

本年も引き続き青年部に対して温かいご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げますと共に皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



加南本部

青年部長

竹田 大輔

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、青年部活動へのご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。

昨年4月より米久前青年部部長から大役を引き継ぎはや一年弱が経ちました。年々在籍部員が卒業等により減っており、1名の新入部員を合せても26名の少人数となり、少し不安を抱えながらのスタートでした。

しかしながら青年部員をはじめ、OBの皆様方ほか、本当にたくさんの皆様から温かいお言葉や励ましを賜り、お蔭さまで何とか務めさせて頂いております。心よりお礼申し上げます。

景気が上昇傾向に有ると言われる中、消費税率の引き上げが決定したりと、依然として先行きが不透明な状態ですが、数年前よりは確実に景気が上向いていると、同業他社様からの声も聴きます。

我々業界の次世代を担うべき青年部は、この景況感の中、何か新しい手法を求めて立ち向かうのかどうかを含め、未来のために今何をなすべきかを常に念頭におき、活動を行っていきたくと考えています。

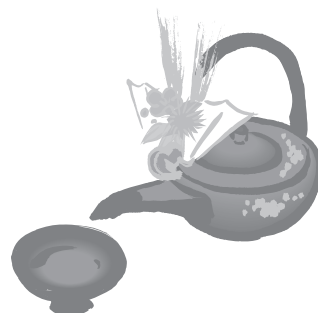
昨年の活動を振り返りますと、より子供達へのアピールを重視した活動になっております。8月の電気使用安全月間に付随したエレクトスクールでは地域の小学生60人に電気の基本的な知識や省エネ方法、又、ソーラーパネ

ルを使用した工作指導を行いました。10月には小松のどんどん祭りに参加して、無料でのコセントアップの工作体験を実施しました。この活動は3年目になるのですが、毎年多くの方に来て頂いており、今年は150人超の方に来て頂きました。子供から大人まで様々な方に電気工事業の一端をお伝えできればとの思いで続けておりますが、中には毎年楽しみにしているとお声掛け下さるお客様もいらっしゃる、続けていて本当に良かったと思える瞬間でした。

又、11月には全国大会にも参加させて頂き、多くの方との交流を始め、太陽光発電事業に関しての様々な考え方を目の当たりにして、大変勉強になりました。

私的な感想で恐縮ですが、私はこの青年部を通じてたくさんのことを学ばさせて頂いています。先にも述べました通り、青年部は全組合員さまをはじめとする多くの皆様の支えにより成り立っています。その感謝を忘れず、我々青年部員は電気に携わるプロとして、また次世代を担う者として、自己投資を厭わず研鑽に励み、電気を通じた社会貢献に努めたいと思います。

一同未熟者ではございますが、どうぞ変わらぬご理解とご協力、ご支援をお願い申し上げます。最後になりましたが、皆様のご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



環境委員会主催『雷に関する講演会』を開催

昨年12月10日(火)に組合会館において、環境委員会(委員長 日向捷久)の主催により「雷に関する講演会」を開催した。講師に北陸電力株式会社小松支社長の中田一夫氏を迎え、初めに「北陸の雷特性とその対策」と題し、北陸の雷の特徴・発生メカニズムやその対策について講演頂いた。特に対策についてはその対策事例を図示しながらの説明となり、その後の質疑応答でも活発な意見が出て、関心が高かった。

次に「北陸電力(株)の現況」と題し、原発が停止している中、代替として火力発電所をフル稼働して対応している。しかし、燃料費が高騰していることから、石油火力よりも燃料費の安い石炭火力に加え、卸電力取引所から電力を調達するなど、電気料金を安価に抑える努力をしている。志賀原

発に関しては、安全強化策を実施した上で、一日も早い稼働を明言され、指摘されているS-1断層は調査の結果活断層ではないことが判明した。

発送電分離に関しては、系統運用における技術的課題や分社化することによる資金調達の不安定化など経営的な懸念事項があるため、これからの議論に注視する必要があるとした。

参加者は組合員の他に電力社員・青年部員・従業員合わせ約100名が参加し、太陽光発電、スマートグリッドなどの普及に伴う電力供給の更なる複雑化、効率化を見据えた雷事故対策に関する見識を深め、今後の事業活動の参考とした。

また、当日は(株)北陸サンコーシャ、コスモシステム(株)、音羽電機工業(株)、森長電子(株)による雷対策の機材の展示も行われた。



『配電自動化工事資格者新規認定教育』が実施されました

去る10月31日(木)から11月1日(金)の2日間、標記教育を実施しました。講師に北陸電力(株)石川支店から2名、当組合からは班長及び職員の6名が講師を務めました。

受講生は県内15社から38名が参加し、配電自動機器操作や通信線工事の基礎を学びました。今後の活躍が期待されます。

記

- 実施日
平成25年10月31日(木)～11月1日(金)
- 実施場所
石川県電気工事工業組合館研修室(学科)
北陸電力(株)田上変電所訓練場(実技)
- 主催
石川県電気工事工業組合
- 受講者数
15社38名
(金沢本部7社20名、能登本部6社13名、加南本部2社5名)

- 講師
<外部講師>
北陸電力(株)石川支店
配電サービス課 中村副課長
同 大西副課長
<組合講師>
県本部 白崎安全部長
金沢本部 田中配電課長
能登本部 西浦配電課長
加南本部 村井配電課長
米沢電気工事(株) 山本配電課長
西川電気工事(株) 大家班長
- 教育内容
学科(7時間)、実技(6時間)
学科では施工指針に関する基礎知識や工法、接続・測定に関する基礎知識など、実技では自動化機器操作訓練、直線・分岐接続の実施など、基礎的な知識習得と技能向上を図ることを目的として実施した。

『班長研修』の実施

去る12月14日(土)～15日(日)にかけて一泊での班長研修を実施しました。講師は、当組合電力部長、安全部長、各本部配電課長が務めました。

県内の外線工事施工者班長が一同に会し、班長としての心構え、安全衛生管理についての講義の後、「ヒューマンエラーを防ぐには」と題してロールプレイングによるミーティング及び作業指示と復唱復命を行い応対力の向上を図りました。今後の作業やお客さま対応に成果が期待されます。

記

- 実施日
平成25年12月14日(土)
- 実施場所
いこいの村能登半島 志賀町上野志賀の郷温泉

- 主催
石川県電気工事工業組合
- 受講者数
23社36名
(金沢本部9社12名、能登本部7社13名、加南本部7社11名)
- 講師
<組合講師>
県本部 種本電力部長
同 白崎安全部長
金沢本部 田中配電課長
能登本部 西浦配電課長
加南本部 村井配電課長

石川県電気工事工業組合「任意労災制度」

「2013年9月現在の内容です。」

～たいへん多数のご加入をいただきましてご好評いただいております～

任意労災制度(業務中のおケガの補償)【業務災害総合保険】の特長

1. 団体契約のため保険料が一般で加入するより割安です(50事業者以上の加入の場合15%割引適用)。
2. 従業員の方々からの個別健康告知は不要です。
3. 年令・性別に関係なく保険料が一律で全額損金処理できます。

※法人が契約者として、従業員全員のために負担する保険料は全額が損金扱いになります。

(法人税基本通達9-3-5, 9-3-6の2を準用 2013年9月現在)

こんな場合に
保険金をお支
払います。



職場に向かう途中の事故



仕事上の事故

☆今回更に補償を追加

①地震もしくは噴火またはこれらによる津波によるおケガを地震・噴火・津波危険補償特約をセットする事で、補償が可能になりました。

②万一の訴訟・巨額賠償に備えて!「使用者賠償責任補償」

1. 労災高額判決・和解金などに最大1億円まで対応できます。
2. 弁護士費用等の訴訟費用もお支払いします。

※この広告は保険商品の概要をご説明したものです。詳細につきましては、パンフレットをご覧ください。取扱代理店または弊社にお問合わせください。

.....

お問い合わせ先

石川県電気工事工業組合
「任意労災制度」推進担当
AIU損害保険株式会社 金沢支店
金沢市上堤町2-37 金沢三栄ビル3階
http://www.aiu.co.jp
TEL 076-223-1144 FAX 076-223-0187
(受付時間) 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)
(営業種目) 自動車保険・火災保険
賠償責任保険・その他各種損害保険



Member of AIG

AIU損害保険株式会社

募集文書承認番号: A-000409 2014年7月まで有効

全日本電気工事業工業組合連合会「業務災害補償制度」

組合員のみなさまへ

組合員の方だけがご加入いただける「全日電工連認定制度」をご紹介します。
万一の事故に備えてご加入をおすすめします。

業務災害補償制度

「業務災害補償制度」にはこんなメリットがあります!!

- ◆スケールメリットにより加入費が割安!
- ◆経営事項審査の加点ポイント! (従業員・下請負人コースにご加入の場合)
- ◆政府労災の認定とは関係なく給付金をお支払い!
- ◆役員・個人事業主コースは24時間補償も選択可能!
- ◆従業員・下請負人コースでは従業員・下請け人を包括的に補償! 人数変動の報告が不要!
- ◆制度ご加入の皆様へ「全日電工連の安心サービス」をご提供!



<加入例> 役員・個人事業主コース/24時間補償・電気工事作業
加入型:E型1口(死亡給付金450万円・後遺障害給付金450万円～18万円
入院給付金日額4,000円・通院給付金日額2,000円)

本制度でご加入・・・ 9,280円(年額)
一般でのご加入・・・ 10,730円(年額)

※「一般でのご加入」とは本制度と同一の保険会社・保険商品・補償内容での保険料です。
※本制度では、多数割引を適用しております。

本広告は、従業員の安心保険(Jマスター)の概要を説明したものです。お申込みの際は配布しております専用のパンフレットをご覧ください。詳細につきましては、東芝保険サービスまでお問い合わせください。

取扱代理店 東芝保険サービス株式会社中部支店 〒451-0064 名古屋市西区名西2-33-10(東芝名古屋ビル3F)
TEL: 052-528-1391 FAX: 052-528-1394
全日電工連制度専用フリーコール(東京)
(平日9:00～17:00 / 通話料無料) 080-050-02141
引受保険会社 日本興亜損害保険株式会社 北陸支店 〒920-0869 金沢市上堤町2-28
TEL: 076-231-3293 FAX: 076-260-4064

第一種電気工事士のみなさんへ

平成25年度から第一種電気工事士定期講習は、新たな指定機関による実施となったため、従来の受講案内の送付がなくなります。

だから
登録！

電気工事技術講習センターに

登録すると 登録料
年会費 **無料で3つの特典！**

1. 受講期限に合わせて「定期講習受講案内・申込書」をお届けします。
2. 「定期講習受講案内・申込書」と一緒に、
電気工事に関する新情報『電気工事関連情報』をお届けします。
3. 定期的に、「電気工事技術情報誌」を無料でお届けします。

電気工事技術講習センターの
定期講習を受けましょう

過去20年の
講習実績と信頼

電気工事関係の
経験豊富な講師陣

わかりやすい
講習テキスト

まずは「電気工事技術講習センター」にご登録を!!

定期講習、行つた？

登録

は今すぐWEBで！

FAX申込みの場合も用紙をダウンロードできます

電気工事講習

検索

一般財団法人 電気工事技術講習センター

<http://www.eei.or.jp>

〒105-0004 東京都港区新橋4-7-2 6東洋海事ビル4階
TEL.03-3435-0897 FAX.03-3435-0828

実施協力団体：全日本電気工業工業組合連合会 日本電気協会

第一種電気工事士の皆さまへ

全日電工連（各都道府県電気工事（業）工業組合）は、電気工事技術講習センター（指定講習機関第1号）の実施協力団体として、全国各地で定期講習を開催しております。

受講期限、切れる前に登録を！

定期講習の受講案内は、平成25年度より送付されなくなりました。そこで講習センターでは、あらかじめ登録いただいた方に、受講申込書を郵送する「受講期限お知らせサービス」を行っています。直前のお申込みは混雑しますので、早めの登録をお願いします。



登録は下記のいずれかの方法でお申込みください。

ファックス
03-3435-0828

下記の登録用紙に記入して送信

ウェブ
<http://www.eei.or.jp>

申し込みフォームに入力して送信

電話
03-3435-0897

免状番号、氏名等を連絡
(土日祝日を除く
9:00～17:00)

【登録用紙】

免状番号	都道府県 第 号	定期講習を受講された方は、 最終受講履歴（免状の記載をご確認ください）	
交付年月日	昭和・平成 年 月 日		
フリガナ		平成 年 月 日	
氏 名		生 年 月 日	昭和・平成 年 月 日
現 住 所	〒 TEL : (日中ご連絡がとれる番号をご記入ください。)		
所 属 企 業			

※ご記入頂いた個人情報は第一種電気工事士定期講習にのみ使用し、他の目的には使用いたしません。

お申込み先

一般財団法人 電気工事技術講習センター（指定講習機関第1号）

〒105-0004 東京都港区新橋 4-7-2 6 東洋海事ビル 4 階

TEL : 03-3435-0897 FAX : 03-3435-0828

URL : <http://www.eei.or.jp>

実施協力団体：全日本電気工業工業組合連合会・日本電気協会



全日電工連オートリース制度のご案内

もっと
“お得”に“安心”に
中古車に乗る方法!!

ワンプライス
ONE PRICE
中古車リース

メンテプラス

車種は選べる5タイプ!

【ご提供車両条件】

- 契約時走行距離：20万km未満
- 契約時経過年数：8年以内
- 修復歴の有無：修復歴問わず

※修復歴車両について：NAK（日本オートオークション協議会）が定める基準に基づき、外部査定会社による車両検査を実施し修復歴判定をおこなっています。基本的には車両の骨格部位に損傷があるもの又は修復・交換されているものは修復歴となります。詳しくはお問合せください。

業務用に最適!

商用車にも! 社用車にも!
ニーズに合わせて選べる5つのカテゴリ!

ハイブリッド



軽バン



軽箱バン



軽乗用



ライトバン



おトク
その1

安い!

リース期間中の車検費用・諸税・自賠責保険料・メンテナンス費用込みで

月々 **12,600円** (税込) ×48回

おトク
その2

早い!

最短で
2~3週間程度で
納車が可能

おトク
その3

安心!

メンテナンス付き
だから中古車でも安心

ご契約条件

● リース期間：4年（48回均等払い） ● メンテナンスリース（6ヶ月毎の点検） ● 月間走行距離：1,500km以下

Point

中古車の状態に左右されない“安心”の商品設計

安心

①

メンテナンスサービス付

当社独自のメンテナンスサービス（6ヶ月毎）*1を全車に付加し、良好な車両コンディションを維持します。リース契約中の車検費用、自動車税、重量税、自賠責保険料もコミコミだから安心♪

安心

②

使用困難になった場合は契約終了

契約車両が故障等で使用継続が困難と判断した場合は、その時点で契約終了*2となります。この場合は損害金のお支払い不要*3です。最大1ヶ月間のレンタカー代車もご用意*4。

お客様に“安心”してお使いいただける中古車リースサービス

*1：メンテナンスサービスの内容・・・●車検 ●法定点検 ●当社基準による点検（6ヶ月毎） ●一般整備 ●一般消耗品交換 ●タイヤ交換（夏タイヤ込み。※冬タイヤ込みのリース契約の場合は別途リース料設定あり） ●故障修理 ●エンジンオイル交換 ●バッテリー交換（必要個数） ●代車提供（事故時を除き、車検・修理まで48時間以上の所要が見込まれる場合）

*2：故障等による契約終了は、当社にて判断させていただきます。

*3：故障の原因がお客様の責任によらない場合に限り。なお、その場合であっても車両滅失月までの当社所定のリース料をお支払いいただきます。詳しくはお問合せください。

*4：最大1ヶ月間のレンタカー代車無償提供サービスにつきましては、契約終了後の入替車両を当社の自動車リース商品で新規にご契約いただけるお客様に限らせていただきます。

ご契約・納車までの流れ

STEP1

車種カテゴリ
の選択

STEP2

車両の確認

STEP3

リース申込
（審査）

STEP4

リース契約
（契約書捺印）

STEP5

登録書類
のご準備

STEP6

納車

※リース契約には審査が必要になります。審査の結果、ご希望にお応えできないこともございますので、あらかじめご了承ください。

※納期について：登録書類のご提出から2~3週間程度で納車となります。ただし在庫車両が無い場合は、通常納期より1ヶ月程度多くなる場合がございます。

※キャンセルについて：契約書の返送をもって、リース契約の成立となります。これ以降のキャンセルは原則できません。（リース期間中は、お客様自己都合による中途解約はできません。）

ボディタイプは以下カテゴリからご選択ください。

お問い合わせ時点での在庫車両をご案内させていただきますので、車種・走行距離等の個別指定はできません。

【ご契約条件】 ●リース期間：4年（48回均等払い） ●メンテナンスリース（6ヶ月毎の点検） ●月間走行距離：1,500km以下

軽バン

主要車種：アルトバン、ミラバン、ミニカバン 等

通常プラン/頭金0円

12,600円/月 (税込)

<2WDの場合>

軽箱バン

主要車種：エブリイバン、サンバーバン、ハイゼットカーゴ 等

通常プラン/頭金0円

16,800円/月 (税込)

<2WDの場合>

軽乗用

主要車種：アルト、e kワゴン、ムーヴ 等

通常プラン/頭金0円

15,750円/月 (税込)

<2WDの場合>

ライトバン

主要車種：ADバン、プロボックス、エキスパートバン 等

通常プラン/頭金0円

17,850円/月 (税込)

<2WDの場合>

環境にやさしい
人気のハイブリッドカーで
日々の燃料コストも削減！

ハイブリッド

主要車種：プリウス、インサイト 等

通常プラン/頭金0円

31,500円/月 (税込)

<2WDの場合>

※上記各商品の表示価格は、2WD車両の4年契約（支払回数：48回）の場合の月額リース料となります。

※4WD車両でのご契約の場合は、上記各商品表示の月額リース料に別途月額1,050円（税込）の加算が必要になります。

※定期点検整備につきましては、全車納車時に実施いたします。 ※保証につきましてはオリックス自動車保証（1年間）付となります。オリックス自動車保証の詳細につきましてはお問い合わせください。

※初年度登録年月・走行距離数・使用歴・ボディカラー・装備等の車両の情報につきましては、提供車両をご提案させていただく際に、当社スタッフよりご連絡いたしますのでご契約前にご確認ください。

リース料に 含まれるもの

車両本体価格/登録時手数料/登録時車検整備費用/納車陸送費/リース期間中のメンテナンス料（車検整備・法定点検・6ヶ月毎の当社基準による点検）/重量税（リース期間分）/自賠責保険料（リース期間分）/自動車税（リース期間分）
※リサイクル料金はリース契約のため不要です。 ※北海道エリアでのご納車の場合は、陸送費用として上記リース料に別途月額＜8,400円（税込）＞の加算が必要になります。 ※その他離島地域に関しては、対象外地域とさせていただきます。予めご了承ください。

カーナビ・ETC付き プランについて

各通常プラン月額+3,255円（税込）

×48回



※取り付けるカーナビゲーションは＜富士通テンメモリーナビ（AVN112M）＞になります。

※ご提供する車両によっては機種が変更になる場合があります。

※ETC車載器の機種は選べません。 ※上記はリース期間が4年契約の場合の料金となります。

リース終了時の 取扱いについて

クルマを返却して契約終了となります。（※買取はできません。）

※カーナビ・ETC付きプランをご選択した場合、カーナビとETC車載器は車両に設置したまま車両をご返却いただきます。 ※お客様のご要望により再リース（1年間再契約）いただくことも可能です。ただし、自動車の状態により使用継続が困難であると当社が判断したときなど、再契約に応じ兼ねることがあります。

従来のオートリース制度にて取扱いの『新車』につきましても、『国産メーカー全車種』取り扱っております。上記車両以外でもお気軽にお問い合わせください。

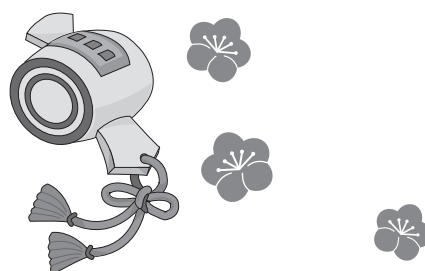
お客様記入欄

- ①ご担当者様名：
②会社名：
③電話番号： — —
④希望車種タイプ： 軽バン・軽乗用・コンパクト・セダン・軽箱バン
*希望タイプを○でお選びください。 ライトバン・ステーションワゴン・ハイブリッド

お問い合わせ

オリックス自動車株式会社
北陸支店第三チーム 担当：野口
営業時間：9:00～18:00（※土・日・祝日休み）
TEL：076-263-5490
FAX：076-222-7543

- | | | | |
|-------|--------------------------------|--------|--------------------------------|
| 10月3日 | 意見交換会（全日電工連） | 13日 | 理事会（全日電工連） |
| 9日 | 環境委員会 | 14・15日 | 第30回電気工事業全国大会 |
| 10日 | 配電課長会議 | 21日 | 常務会
平成25年度中間会計報告 |
| 17日 | 理事会
（全国労働保険事務組合連合会石川支部） | 26・27日 | 中部・北陸連絡会（北陸連合会） |
| 18日 | 災害復旧訓練（加南本部） | 3日 | 安全大会（北陸連合会）
技術・認証委員会（全日電工連） |
| 22日 | 配電・安全合同委員会
事務局会議 | 6日 | 役員会
平成25年度中間会計報告 |
| 31日 | 北陸電力安全技能競技会
配電自動化工事教育 | 10日 | 雷講演会（環境委員会） |
| 11月1日 | 配電自動化工事教育 | 12日 | 三役会・理事会（全日電工連） |
| 5日 | 環境委員会 | 13日 | 内線工事特別安全パトロール |
| 8日 | 雇用改善推進大会（建産連）
定例会（石川県電気業協会） | 16日 | 定期講習事務担当者連絡会（北陸連合会） |
| 12日 | 監事会
平成25年度中間決算諸表の監査 | 17日 | 職員懇談会 |



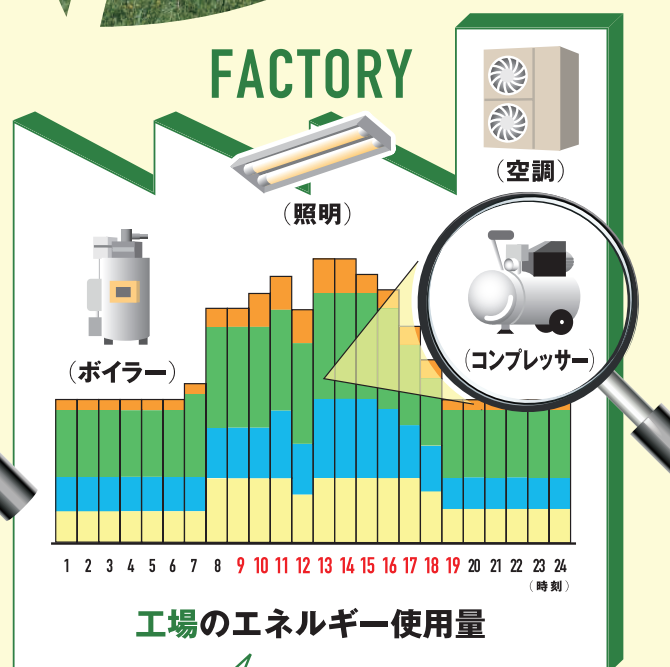
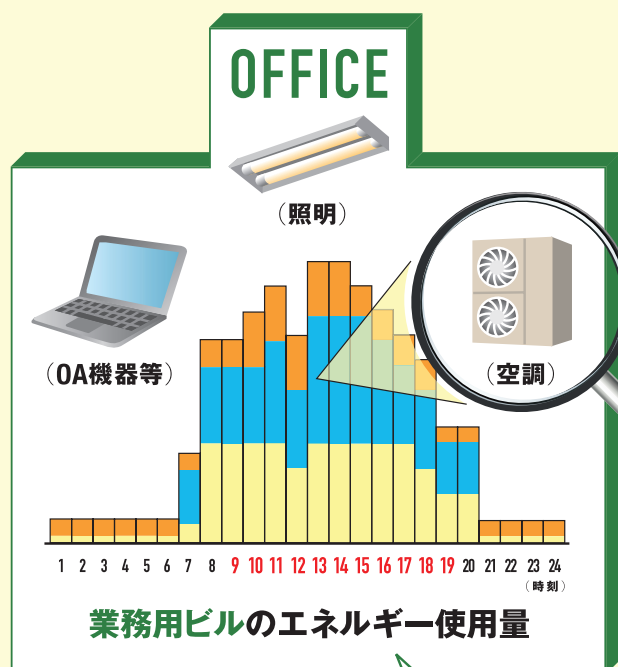
こうほう 第130号

発 行 2014年1月1日

発行所 石川県電気工事工業組合
金沢市新保本4-65-22
TEL (076)269-7880(代)
FAX (076)269-7881

これからの省エネは、 エネルギーの

「見える化」 が有効です。



■ 照明 ■ 空調 ■ 生産 (コンプレッサー、ボイラー等) ■ その他 (OA機器等)

お客さまの「見える化」への取組みには、 私たちの「エネルギーソリューション」がサポートします。

「見える化」への取組みは、施設全体のエネルギーの流れ・使用量・使用時間を各種計測等で数値化・グラフ化し、データを分析・解析することで、省エネポイントが明確になり、省エネ対策が効果的に実施できます。北陸電力では、エネルギーに関する専門知識と各種計測等で、お客さまのエネルギーの効率的利用のサポートに取組んでまいります。



お問合せは 営業推進部 商工コンサルチーム ☎930-8686 富山市牛島町 15-1 TEL 076-441-2511 (代)